

MANCHESTER SERIES

MV212-XV and MV212

Dual 12" Full Size Line Array Element and Variable Curvature Line Array Element for Touring and Install Applications

MV212-VT

Vertical Transporter for 4 MANCHESTER MV212 Line Array Elements

MS215

Dual 15" Vented Bandpass Subwoofer for Touring and Installation Applications

MS215-VT

Vertical Transporter for MANCHESTER MS215 Subwoofers

MAN-FG

Universal Fly Grid for MANCHESTER MV Line Array Elements and MS215 Subwoofers



警告!

このリギングマニュアルには重要な安全情報が含まれており、将来の参照のために安全な場所に保管する必要があります。元の販売、レンタル、または再販中に機器を付属させる必要があり、機器のすべてのオペレータとユーザーは、このマニュアルが利用可能であることを認識する必要があります。定期的に当社のウェブサイト turbosound.com 訪問し、このマニュアルの更新を確認してください。

目次

安全指示.....	3
第 1 章 安全情報	4
第 2 章: はじめに	6
第 3 章: MAN-FG フライグリッド上の MV212 アレイのアセンブル	28
第 4 章: MAN-FG フライグリッド上の MS215 サブウーファースの組み立て	32
第 5 章: MS215 サブウーファースを使用した MV212 アレイの組み立て	35
第 6 章: 2 つの MS215 サブウーファース のグランドスタック	39
第 7 章: グランドスタック MS215 サブウーファースと MV212 アレイ	42
第 8 章: MV212-VT および MS215-VT 垂直トランスポーター	46
第 9 章 安全点検.....	49
第 10 章: 10:1、7:1、および 5:1 の設計要因での MAN-FG フライグリッドサスペンションの エンクロージャ量と組み合わせ	50

安全指示

1. これらの指示をお読みください。
2. これらの指示を守ってください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 乾いた布でのみ拭いてください。
6. 換気口をふさがないでください。製造元の指示に従ってインストールしてください。
7. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、または熱を発生するその他の装置 (アンプを含む) などの熱源の近くに設置しないでください。
8. 製造元が指定したアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。



9. 製造元が指定した、または装置と一緒に販売されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルでのみ使用してください。カートを使用する場合は、カートと装置の組み合わせを移動するときに、転倒による怪我を防ぐように注意してください。



10. この製品の正しい廃棄: この記号は、WEEE指令 (2012/19/EU) および国内法に従って、この製品を家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。この製品は、廃電気電子機器 (EEE) のリサイクルを許可された収集センターに持ち込む必要があります。この種の廃棄物の取り扱いを誤ると、一般に EEE に関連する潜在的に危険な物質が原因で、環境と人間の健康に悪影響を

与える可能性があります。同時に、この製品の正しい廃棄にご協力いただくことで、天然資源の効率的な利用に貢献します。廃棄物をリサイクルする場所の詳細については、最寄りの市役所または家庭ごみ収集サービスにお問い合わせください。

11. 本棚などの狭い場所には設置しないでください。
12. 火のともったろうそくなどの裸火源を装置の上に置かないでください。

第 1 章 安全情報

1.1 使用目的

リギングコンポーネント (MAN-FG フライグリッド、リギングピン、取り付けリンク)は、このマニュアルに記載されているように、Turbosound MV212 ラウドスピーカーおよび MS215 サブウーファーと組み合わせてのみ使用してください。

1.2 このマニュアルの使用目的

このマニュアルの手順では、MV212 および MV212-XV スピーカーキャビネット、MS215 サブウーファー、および MAN-FG フライグリッドのさまざまな構成を組み立て、サスペンドまたはグランドスタッキングの準備をする方法について説明します。

これらの命令は、MV212、MV212-XV、MS215、および MAN-FG コンポーネントでのみ使用してください。

説明書には、外部持ち上げ装置の詳細は記載されておらず、安全な持ち上げ手順や取り付けの詳細も含まれていません。

これらの指示および手順の所有は、それらの使用の許可を意味するものではありません。

1.3 一般的な安全性

吊り下げられたシステムの一部としての製品の操作は、不適切および不適切にインストールされた場合、深刻な健康上のリスクや死亡に人を危険にさらす可能性があります。さらに、設置前に、電氣的、機械的、音響的考慮事項について、資格を持ち認定された(地方、州、または国の当局による)担当者と話し合うようにしてください。

設置とセットアップは、お客様の国で適用される有効な地域、州、およびその他の安全規制を遵守する資格と権限のある担当者のみが行う必要があります。不足している部品やコンポーネントがある場合は、システムのセットアップを試みる前に販売店にお問い合わせください。

サスペンション/固定ポイントが意図した用途に適していることを確認するのは、アセンブリを設置する人の責任です。

また、Turbosound ラインアレイのトレーニングをセールスパートナーやアプリケーションチームとスケジュールすることをお勧めします。

ターボサウンドリギングシステムに接続するために使用される機器は、適切な定格でなければならず、地域、州、およびその他の安全規制に準拠している必要があります。ターボサウンドリギングは、他のタイプやブランドのスピーカーと一緒に使用しないでください。この行為は安全基準を損なう可能性があり、Music Tribe Global Brands Ltd はそのような原因による損害または傷害について責任を負いません。リギングアクセサリを変更したり、このリギングマニュアルに記載されている以外の方法で使用したりしないでください。完全なアセンブリの一部として提供されるリギング構成部品は交換不可能であり、他のアセンブリの構成部品と交換してはなりません。

溶接、またはリギングコンポーネントを互いにまたはキャビネットの固定ポイントに恒久的に固定するその他の手段は許可されていません。リギングコンポーネントまたはアセンブリは、キャビネット固定ポイントを使用して Turbosound スピーカーキャビネットにのみ固定する必要があります。

Music Tribe Global Brands Ltd は、製品の不適切な使用、設置、または操作に起因するいかなる損害または人身傷害についても責任を負いません。システムが安全で安定した状態にあることを確認するために、資格のある担当者が定期的なチェックを実施する必要があります。商品が吊り下げられている場所では、商品の下エリアに人的往来がないことを確認してください。一般の人々が入力または使用できる領域で製品を一時停止しないでください。

1.4 ラウドスピーカーのケーブル配線

アンプからスピーカーキャビネットにスピーカーケーブルを接続してサポートし、入力配線によってアレイに大きな重量や横方向の力が加わらないようにします。

入力ケーブルまたはリンクケーブルは、アレイの角度付けに使用したり、リギングとして使用したりしないでください。

1.5 負荷容量とシステムの安全性

MAN-FG フライグリッドは、10:1 の安全率で最大 16x MV212 または 12x MS215 をサスペンドし、10:1 の安全率で 6x MS215 と 8 MV212 の混合アレイをサスペンドするように設計されています。EASE FOCUS モデリングソフトウェアを使用して、さまざまなアレイの組み合わせを予測します。

マンチェスターシリーズのインストール手順と推奨事項は、第3章から第5章で説明されており、10:1 の設計係数に基づいています。マンチェスターシリーズのエンクロージャの数と組み合わせは、第 10 章の他の設計要因についても示されています。地域の設計要素要件に準拠するために、地域の規制を確認してください。

インストール前に、EASE FOCUS モデリングソフトウェアのエラーおよび警告表示を必ず参照してください。

1.6 安全検査

リギングシステムのコンポーネントとキャビネットに欠陥や損傷の兆候がないか慎重に検査してから、飛行するアレイの組み立てを進めてください。部品が損傷または疑わしい場合、またはアイテムの適切な機能と安全性に疑問がある場合は、それらを使用せず、直ちに使用を中止してください。

ケアの維持と廃棄については、第9章を参照してください。

1.7 二次安全

劇場、スタジオ、またはその他の職場および娯楽施設で飛行するすべての拡声器は、サスペンションの基本的な耐荷重手段に加えて、独立した、適切に評価され、かつ安全に取り付けられた二次安全を備えなければならない。承認された構造および定格荷重のスチールワイヤーロープまたはスチールチェーンのみが、二次安全装置として使用されなければならない。プラスチックで覆われたスチールワイヤーロープは、二次安全装置として使用することは許可されていません。

2 次安全サスペンションは、1 次サスペンションポイントから独立しており、システム全体の重量を運ぶことができる必要があります。追加の安全装置は、プライマリサスペンションに障害が発生した場合に、アレイが安全装置によって落下や揺れなしに捕捉されるように取り付ける必要があります。

1.8 風荷重

ラウドスピーカーは、次の風に吹かれて吊り下げられたり、地面に積み重ねられたりしてはなりません。

ビューフォート スケール 6 bft (39-49 km/h, 25-31 mph, 22-27 ノット)

予報または実際の風が到達した場合:

ビューフォート スケール 8 bft (62-74 km/h, 39-46 mph, 34-40 ノット)

- 1) 人員の領域をクリアする
- 2) アレイを低くして固定

1.9 操作上の安全性

手続きには、2 人以上の権限のある人を使用する必要があります。

リフト計画を作成する: リフトが発生する前に、実行される正確な手順と手順を説明するリフト計画を策定する必要があります。計画は、各人が自分の責任を理解できるように、リフトのすべてのアシスタントと利害関係者と共有する必要があります。

リギングコンポーネントとラウドスピーカーのそれぞれの指示ラベルに記載されているすべての指示に従います。

チェーンホイストを使用する場合は、アレイの真下または近くに誰もいないことを確認してください。

組み立て中は、破砕の危険性に注意してください。

適切な防護服を着用してください。

安全ロゴ	形容	安全ロゴ	形容	安全ロゴ	形容
	保護帽子は着用しなければならない		保護メガネを着用しなければならない		保護手袋を着用しなければならない
	保護靴は着用しなければならない		安全なリフティングを練習する		

1.10 このマニュアルの安全上の注意



警告

これは、従わないと永久的な怪我や死亡につながる可能性があるというアドバイスを示しています。



注意

これは、従わないと機器に損傷を与える可能性があるというアドバイスを示しています。

手記

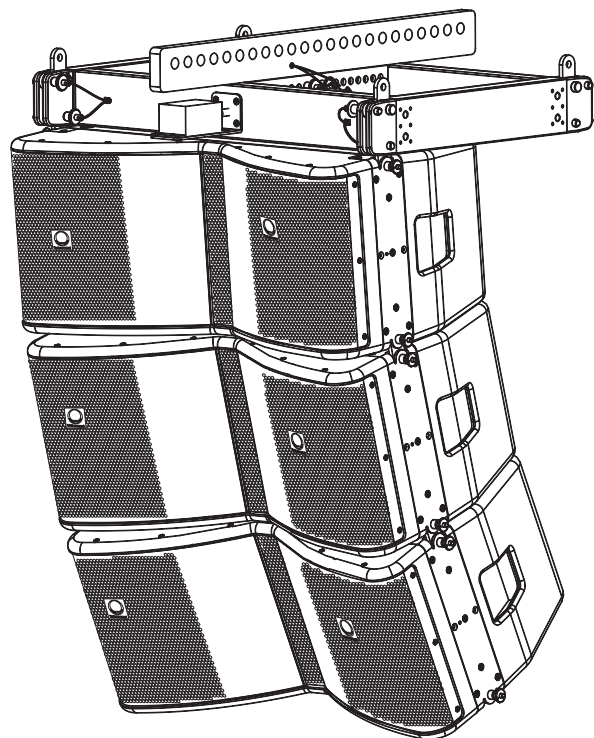
これは、手順を実行するときに役立つ追加のアドバイスを示します。

JP

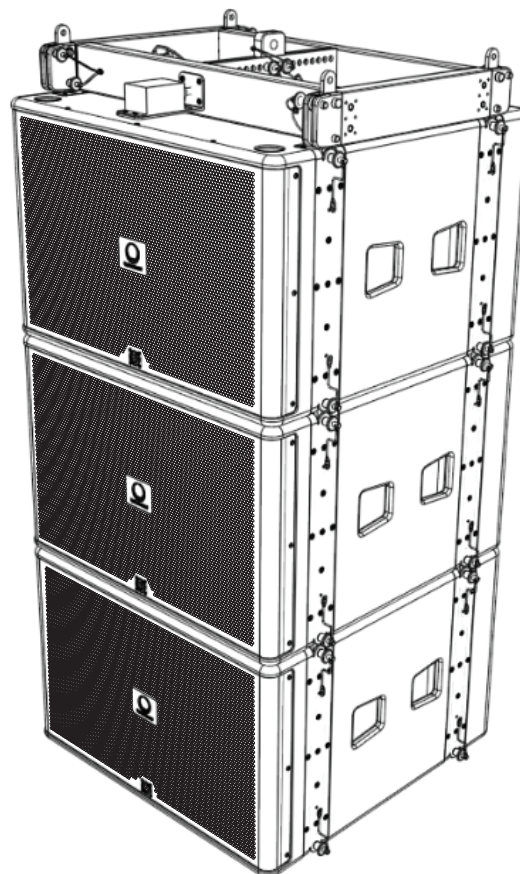
第 2 章: はじめに

2.1 典型的な構成

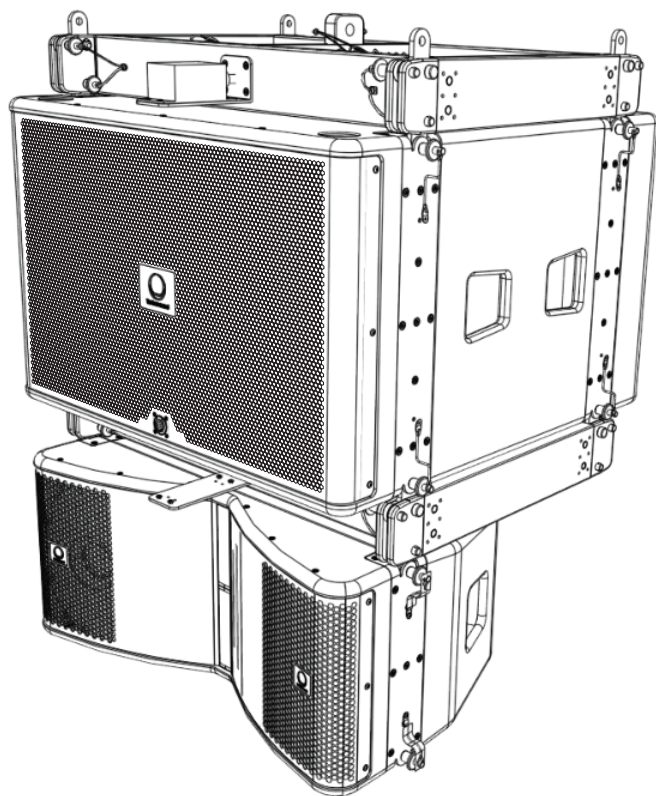
MV212 アレイ (第 3 章を参照)



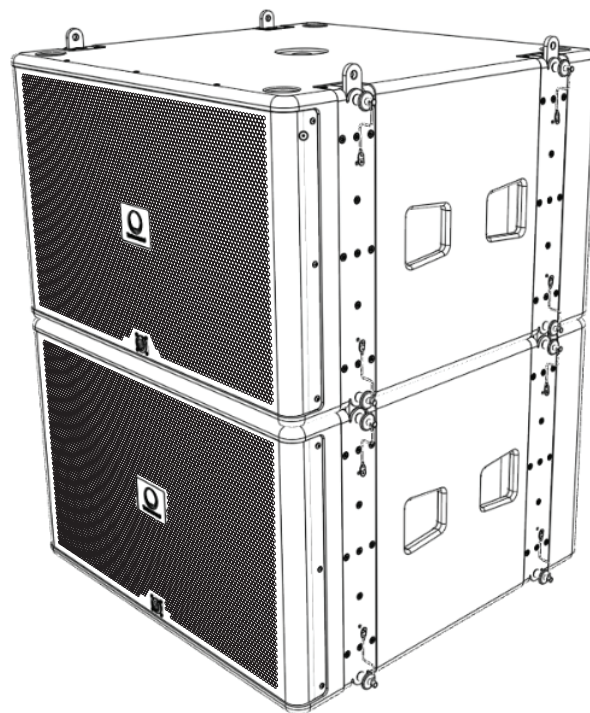
MS215 配列 (第 4 章を参照)



MS215 と MV212 の混合配列 (第 5 章を参照)

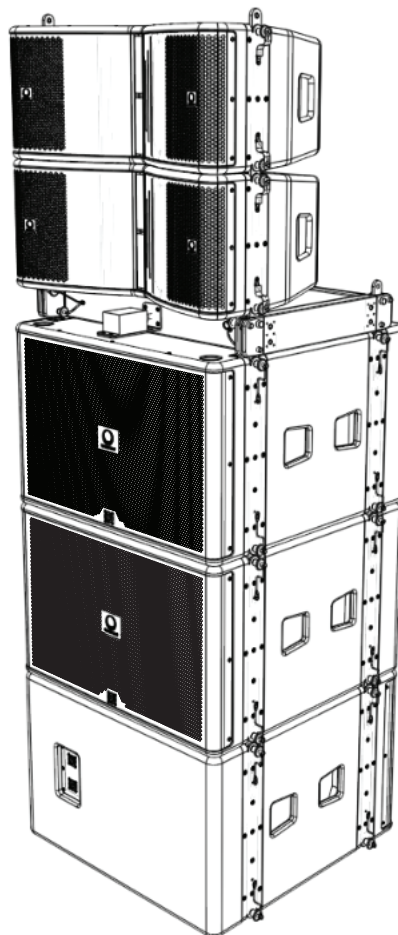
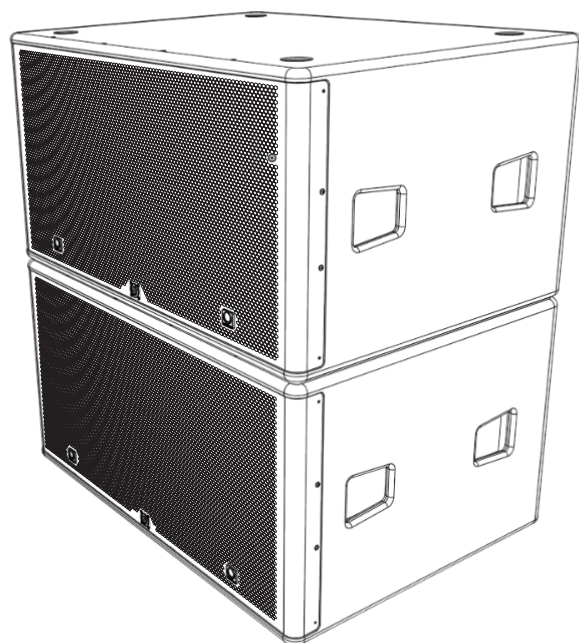


2つの MS215 サブウーファーグラウンドスタック (第 6 章を参照)



MS215 および MV212 アレイ グラウンドスタック (第 7 章を参照)

2つの MS218 サブウーファーグラウンドスタック(第 6 章を参照)



2.2 リギングおよび音響シミュレーションソフトウェア

EASE FOCUS ソフトウェアを使用すると、会場で最適なパフォーマンスとカバレッジが得られるようにシステムを構成できます。ソフトウェアは <http://www.afmg.eu/index.php/products.html> からダウンロードできます

キャビネットの数を変えたり、各キャビネットの角度を調整したり、SPL カバレッジを任意の構成で計算したりできます。

EASE FOCUS ソフトウェアを使用して最適なシステムを設計したら、各 MV212 キャビネットの角度と、MAN-FG フライグリッド上の正しいサスペンションホール（シングルポイントサスペンション用に弓シャックルが取り付けられる場所）に注意する必要があります。2 点サスペンションの場合、MAN-FG チップバーのピックポイント穴をフロントおよびリアチェーンモーターと組み合わせて使用して、所望のアレイ部位角度を得ることができます。

以下の EASE FOCUS スクリーンショットは、一般的な MV212 構成用です。「RIGGING」タブを確認し、アレイの重量、底部要素の地上からの仰角、底部エンクロージャの角度などの設置パラメータを書き留めます。

「オブジェクトのプロパティ」タブの各 MV212 キャビネットの角度に注意してください。



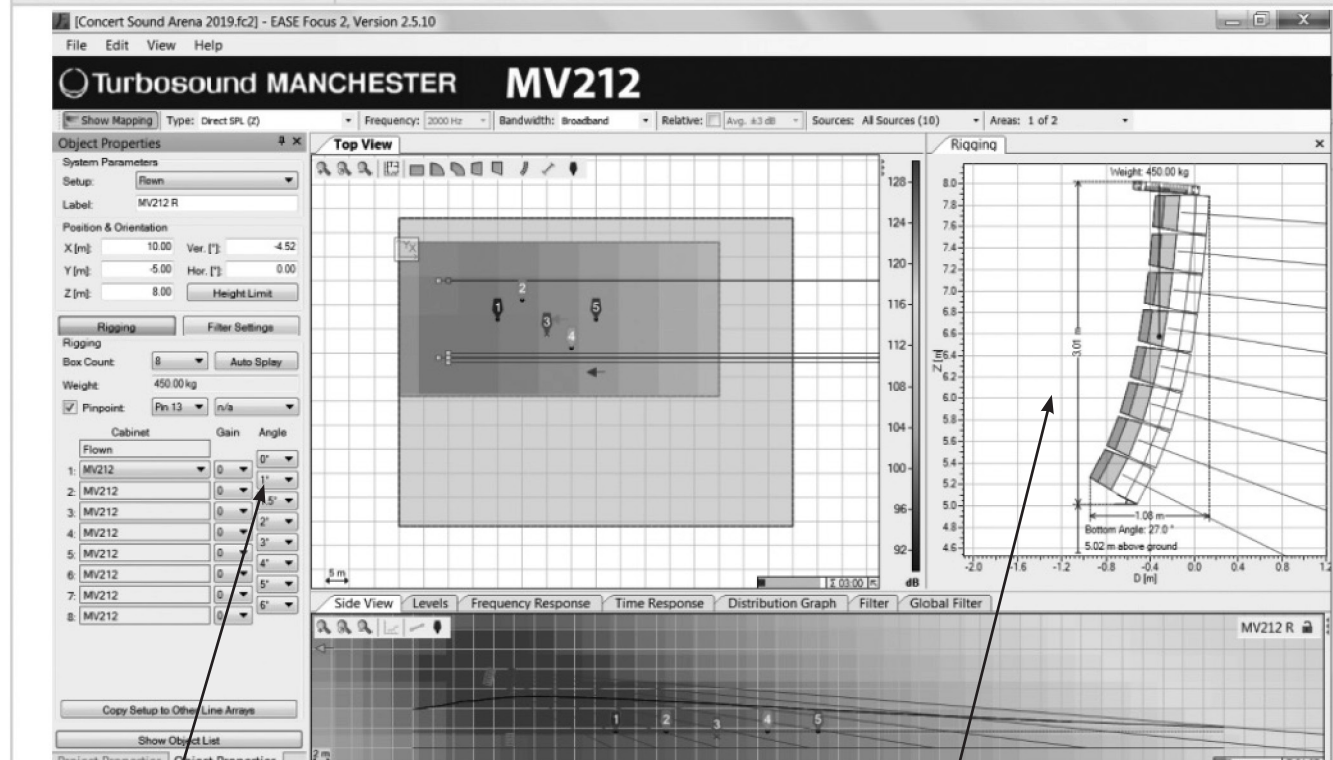
警告

エラーと警告の表示は、作業負荷制限が 10:1、7:1、または 5:1 の設計因子で超過した場合、[オブジェクトのプロパティ] ウィンドウに表示されます。これらの警告は、現地の規制に従って常に注意を払ってください。

2.2.1 MV212 アレイの典型的なスクリーンショットのイーズフォーカス



Full EASE data can be downloaded from www.turbosound.com
This will allow acoustic prediction, array formation and suspension to be determined. Important safety information about WLL is also calculated by EASE Focus.



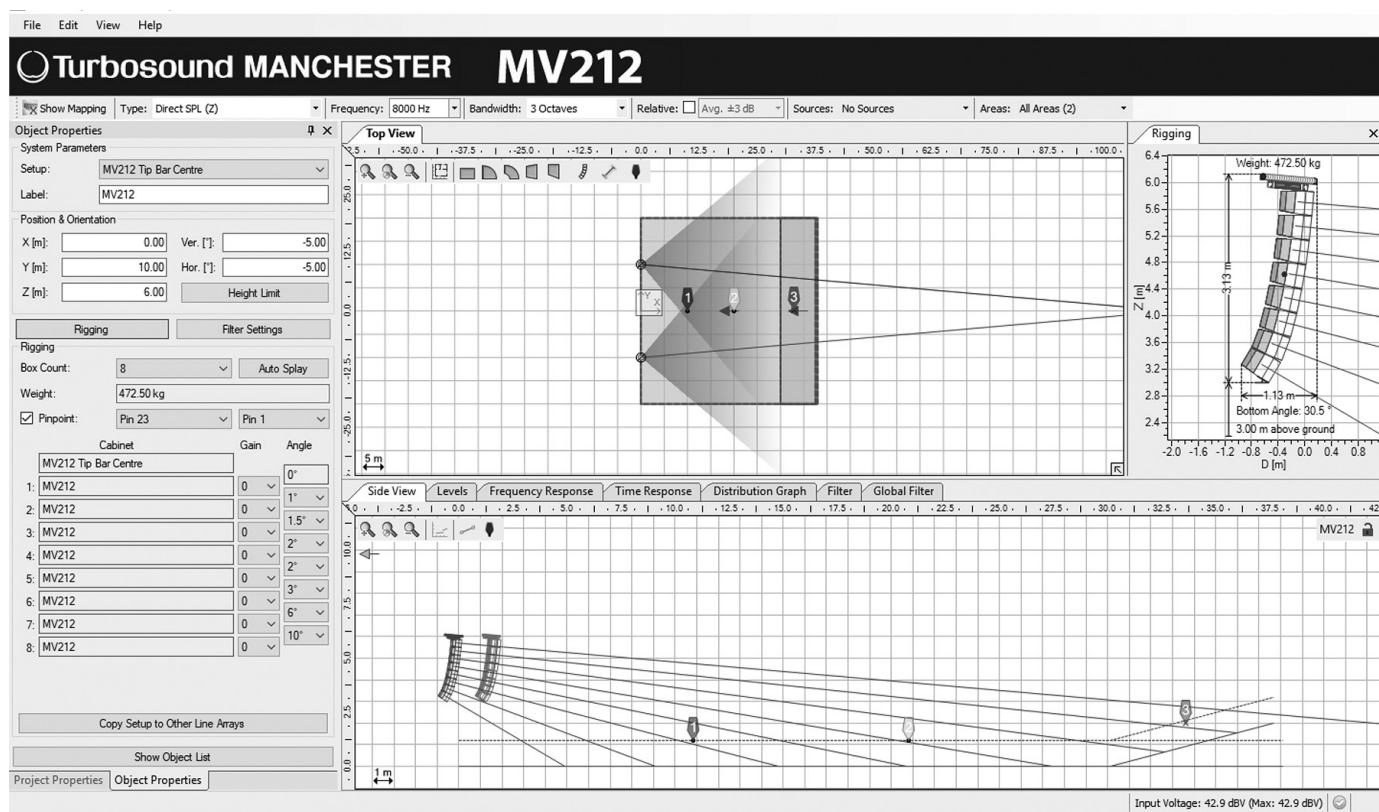
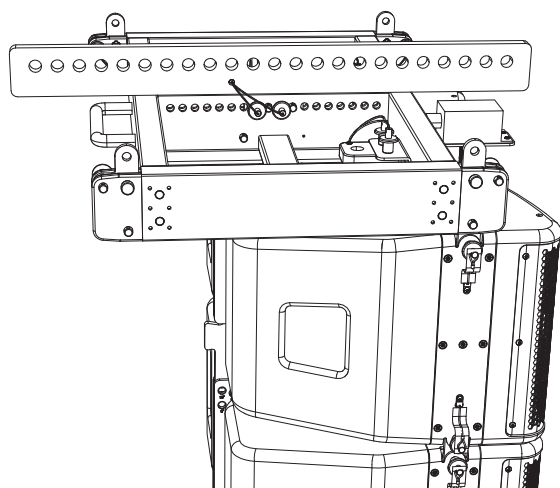
MV212 Cabinet Angles

Rigging Tab Shows the layout graphically, and indicates the correct suspension pick point to choose on the fly grid.

2.2.2 EASE の例: アレイ MV212 x 8、MAN-FG チップ バーを中央に配置

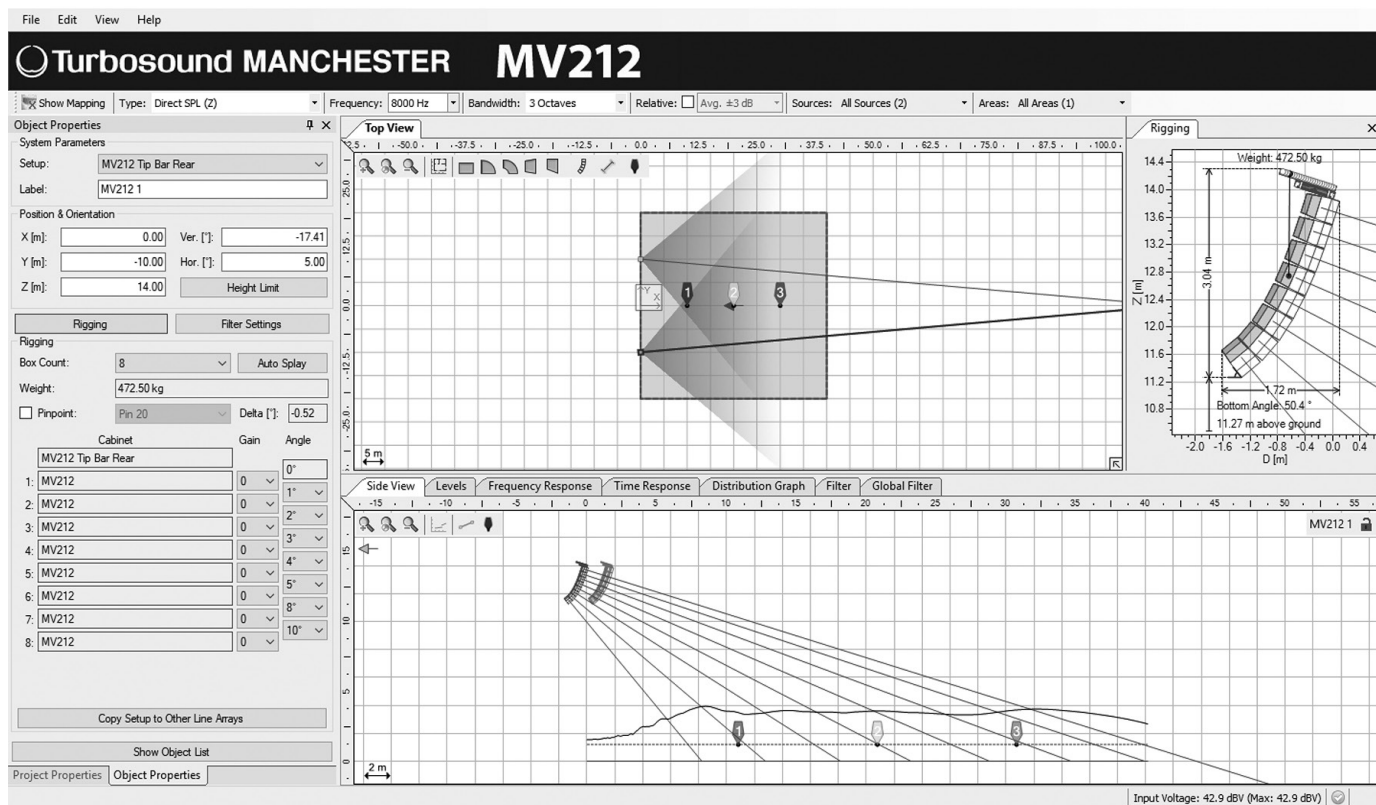
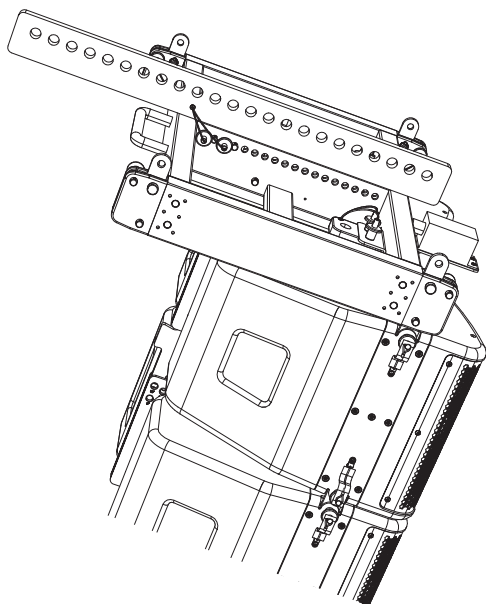
この例では、MAN FG フライ グリッドの中央位置に取り付けられたチップ バーを使用します。

注: 傾斜角の変動をあまり必要としないシステム、およびメインホイストを 1 つだけ必要とするシステムでは、チップバーの代わりに単一のシャックルプレートを使用できます。4 つのリギングピンはすべて、チップバーを MAN-FG フライグリッドに固定するために使用されます。



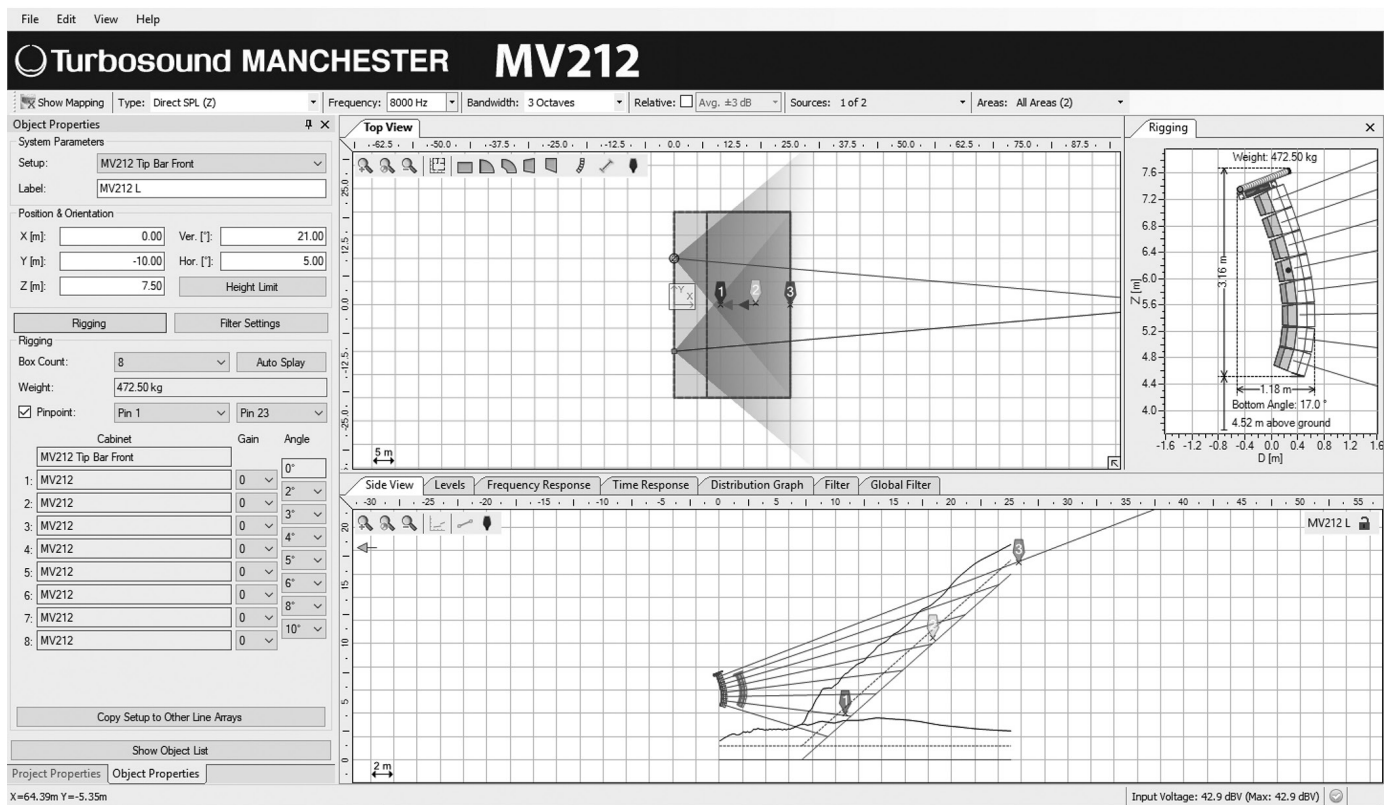
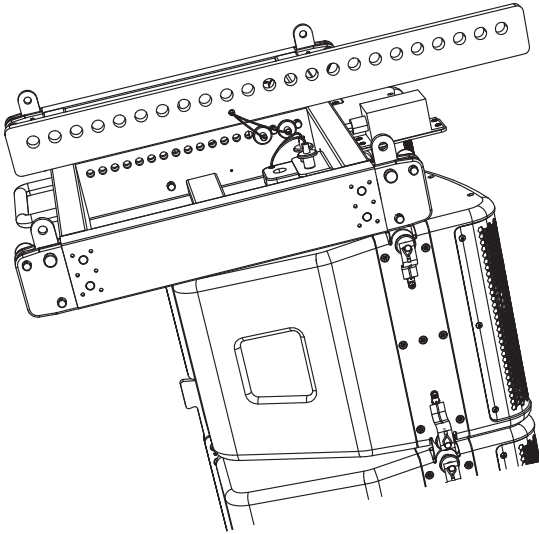
2.2.3 EASE の例: アレイ MV212 x 8、MAN-FG チップバーを後方に取り付け

この例では、MAN-FG フライ グリッドの後方位置に取り付けられたチップ バーを使用します。この位置にチップバーを使用すると、アレイの重心力によってアレイが下向きに傾きます。4 つのリギングピンはすべて、チップバーを MAN-FG フライグリッドに固定するために使用されます。



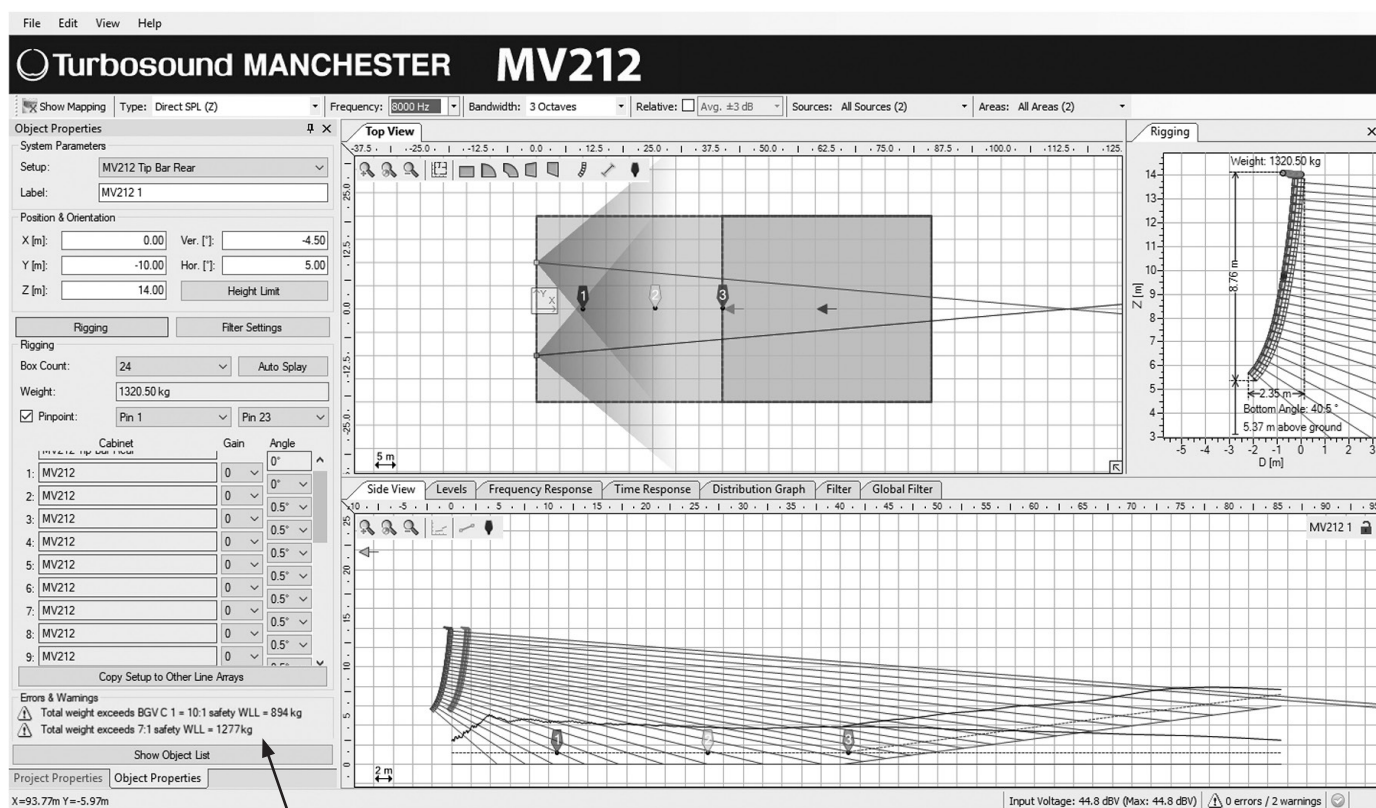
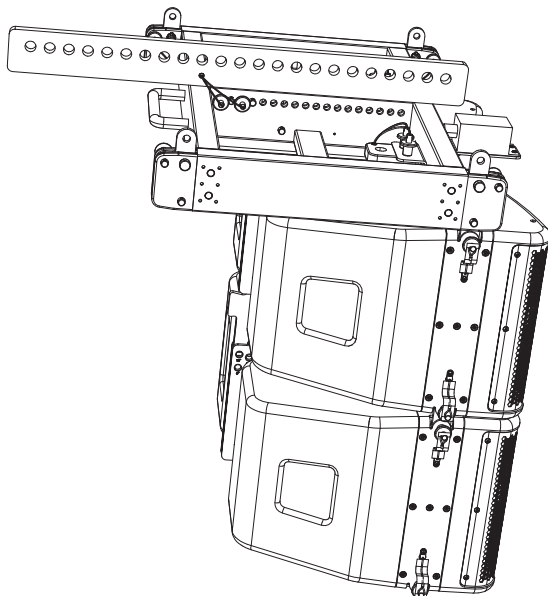
2.2.4 EASE の例: アレイ MV212 x 8、MAN-FG チップバーを前方にマウント

この例では、MAN-FG フライ グリッドの前方位置に取り付けられたチップ バーを使用します。この位置にチップバーを使用すると、アレイの重心力によってアレイが上向きに傾きます。4 つのリギングピンはすべて、チップバーを MAN-FG フライグリッドに固定するために使用されます。



2.2.5 EASE の例: アレイ MV212 x 24、MAN-FG チップを後方に

この例では、MAN-FG フライ グリッドの後方位置に取り付けられたティップ バーを使用します。4 つのリギングピンはすべて、チップバーを MAN-FG フライグリッドに固定するために使用されます。また、MAN-FG フライグリッドの作業負荷制限を超えたという警告も表示されます (7:1 の場合)。



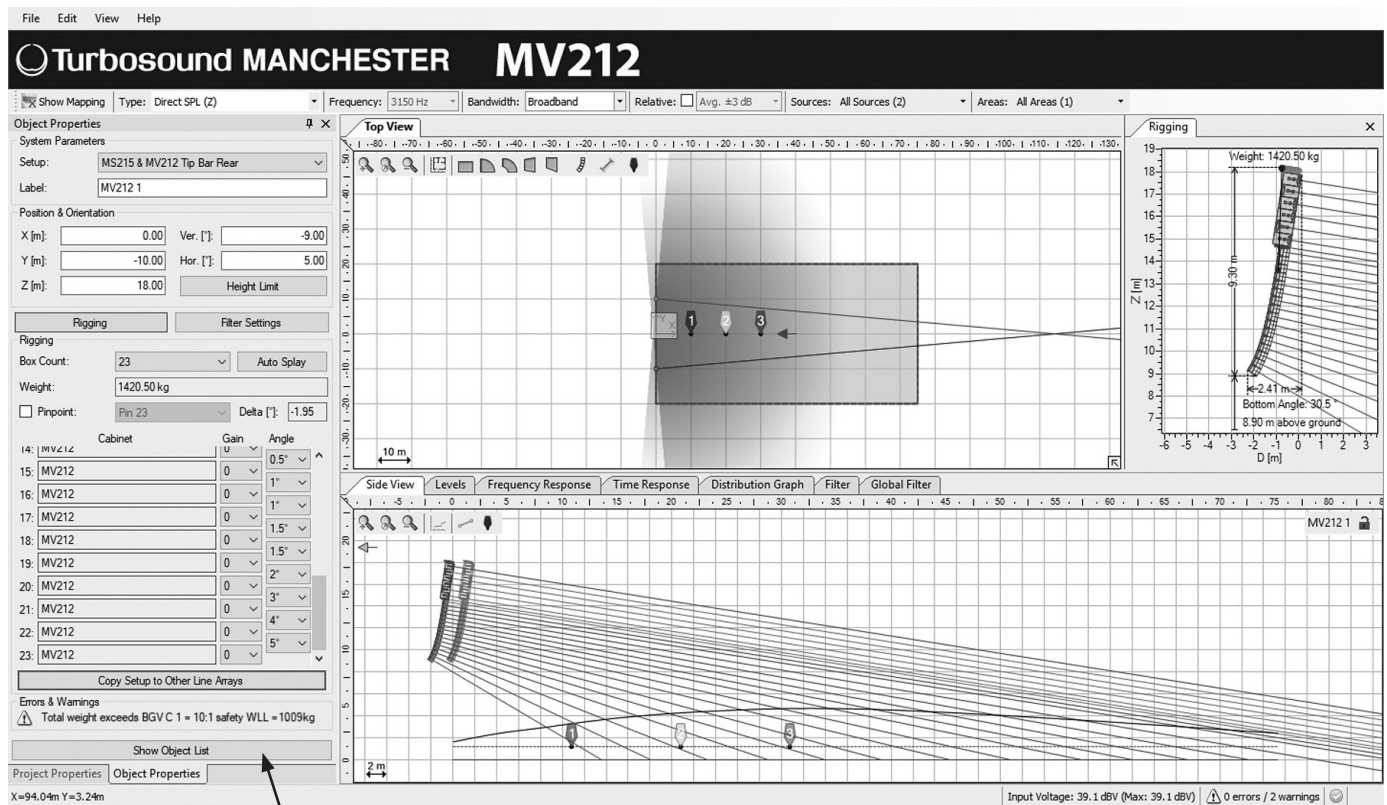
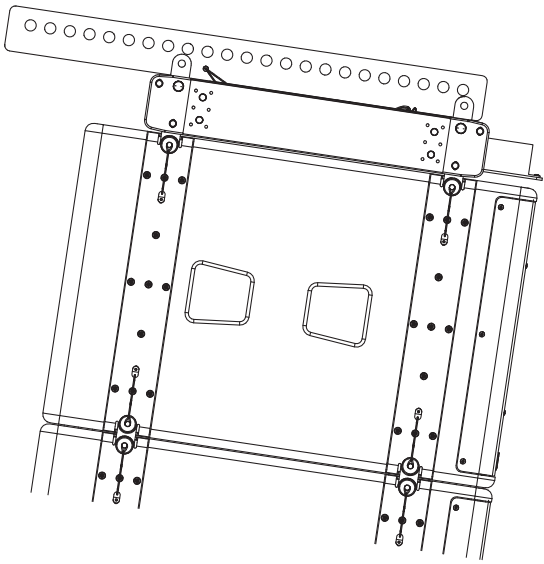
Errors & Warnings

- ⚠ Total weight exceeds BGV C 1 = 10:1 safety WLL = 894 kg
- ⚠ Total weight exceeds 7:1 safety WLL = 1277 kg

This means the array is now at 5:1 WLL

2.2.6 EASE の例: 混合アレイ MS215 x 6、MV212 x 16、MAN-FG チップバーを後方に取り付け

この例では、MAN-FG フライ グリッドの後方位置に取り付けられたチップ バーを使用します。4 つのリギングピンはすべて、チップバーを MAN-FG フライグリッドに固定するために使用されます。また、MAN-FG フライグリッドの作業負荷制限を超えたという警告も表示されます (10:1 の場合)。



Errors & Warnings

⚠ Total weight exceeds BGVC 1 = 10:1 safety WLL = 1009kg

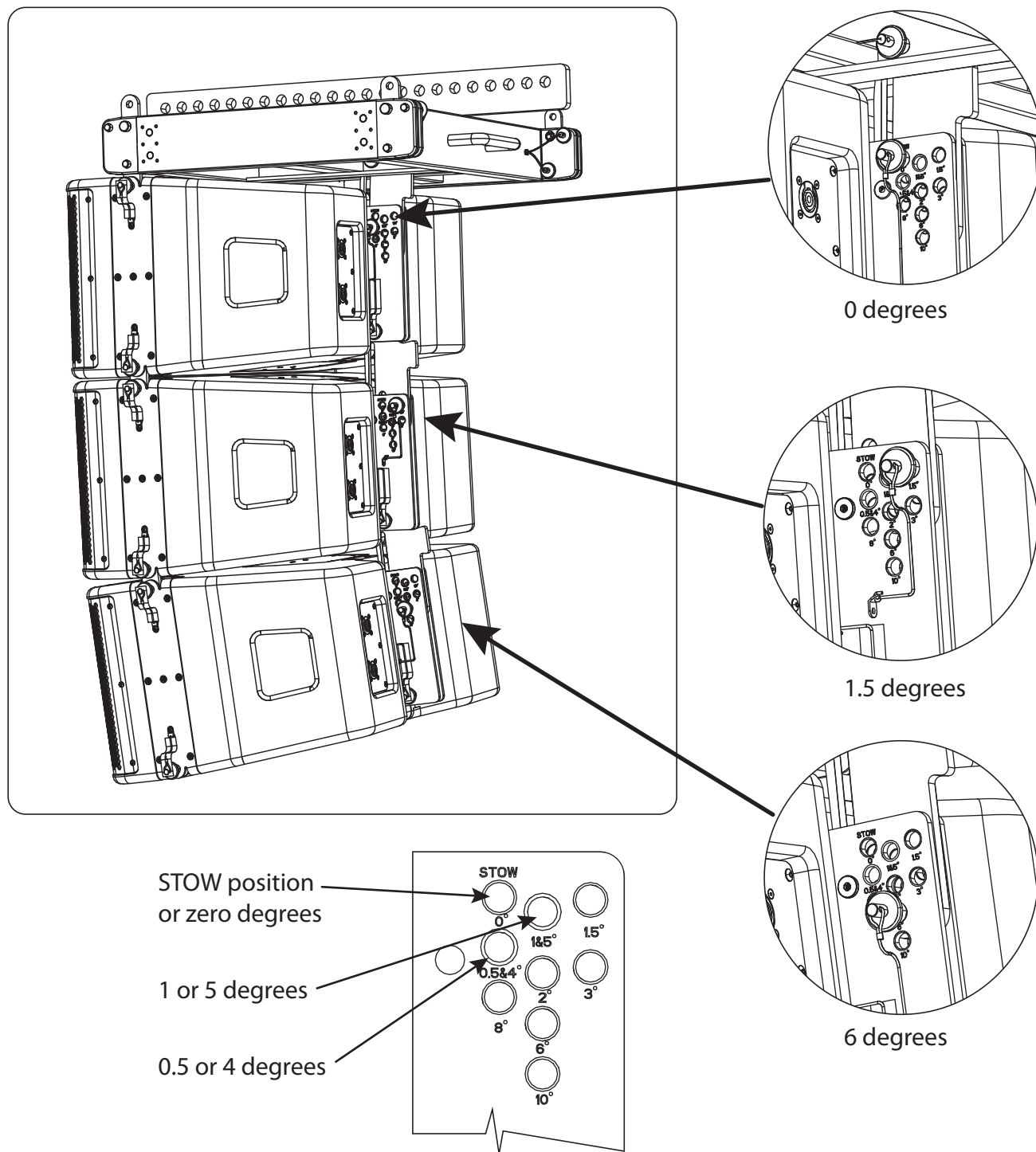
This means the array is now at 7:1 WLL

2.3 MV212 キャビネットアングル

各 MV212 キャビネットの上のキャビネットに対する角度は、クイックリリースピンを背面取り付けブラケットの取り付け穴の 1 つに挿入することによって変化させる。これらは 0~10 度とラベル付けされています。

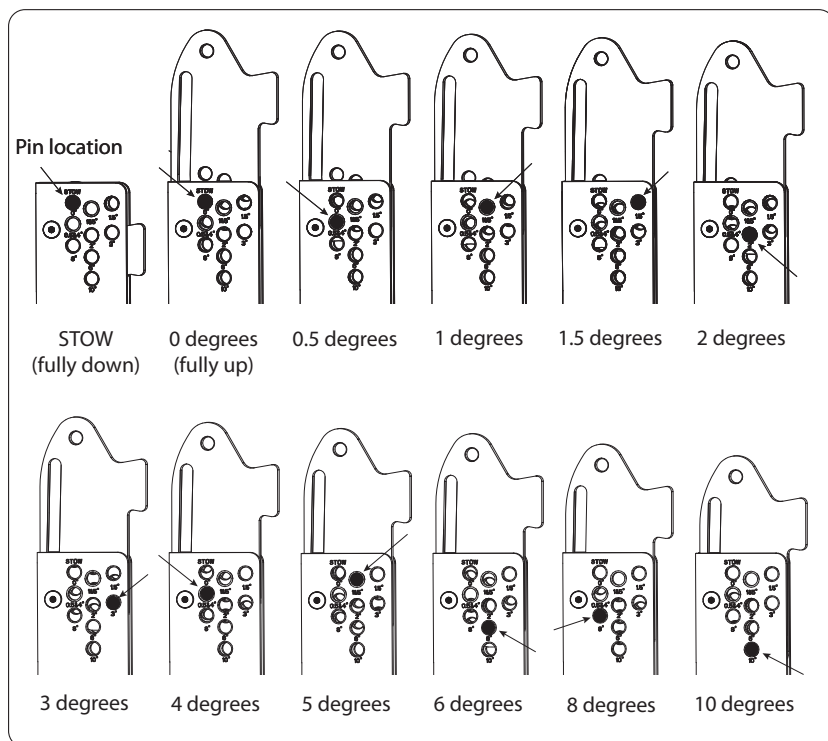
「STOW」位置を使用して、使用していないときはスライドマウントプレートを最も低い位置にしっかりと収納します。

0度の位置は「STOW」と同じ穴を使用しますが、スライドマウントプレートを最も高い位置まで移動させるために使用されます。
(プレートは捕われの身で、落ちません。)



MV212 リアマウントプレートへのリギングピンの取り付け

この図は、上のキャビネットに対するキャビネットの角度を設定するために使用されるピン位置を示しています (0度 = 平行)。



2.4 チップバー、フライグリッド、シングルシャックルプレート、グラウンドスタックプレート

チップバーには、直径 20 mm のトップホールが 23 個あり、シャックルを取り付けることができます。各ホールには識別用の番号が付けられ、番号 1 は前面に、番号 23 は背面にあります。

また、チップバーには直径 12.5 mm の下部取り付け穴が 4 つあり、この目的のためにチップバーに取り付けられた 4 つのキャプティブクイックリリースピンを使用して、チップバーを MAN-FG フライグリッドの中央背骨に取り付けることができます (以下は示されていません)。

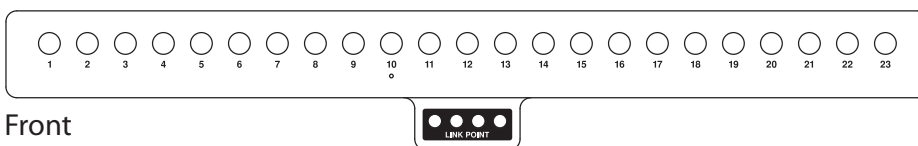
MAN-FG フライグリッドセンタースパインには、直径 12.5 mm のトップホールが 18 個あり、チップバーまたはシングルピックポイントプレートを取り付けることができます。各ホールには識別用の番号が付けられ、番号 1 が前面に、番号 18 が背面に表示されます。

MAN-FG フライグリッドセンタースパインには、「MV212 LOCK」穴(番号 12 穴の下)もあり、MV212 キャビネットの後部上部取り付けプレートを取り付けて飛行することができます。この目的のために、1 つのキャプティブクイックリリースピンが MAN-FG フライグリッドセンタースパインに取り付けられています (以下は示されていません)。

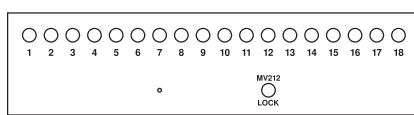
グラウンドスタックプレートには、-6、-3、-1、0、1、3、および 6 度の角度マーキングがあります。この目的のために、MAN-FG フライグリッドに取り付けられたキャプティブクイックリリースピンを使用して、「12」とマークされた MAN-FG フライグリッド穴に収まります。グラウンドスタックプレートの上部の穴は、最初の MV212 キャビネットの後部下取り付け穴に収まります。グラウンドスタックプレートの適切な穴を選択し、第 1 の MV212 キャビネットの角度を設定する。

単一のシャックルプレートは、大きな傾斜角がないシステムで、チップバーの代わりに使用できます。MAN-FG センタースパインには、この目的のために単一のシャックルプレートに取り付けられた 2 つのキャプティブリギングピンが取り付けられています (以下に示すわけではありません)。

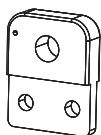
Tip Bar



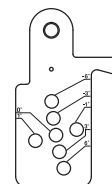
Center Spine



Single Shackle Plate



Ground Stack Plate



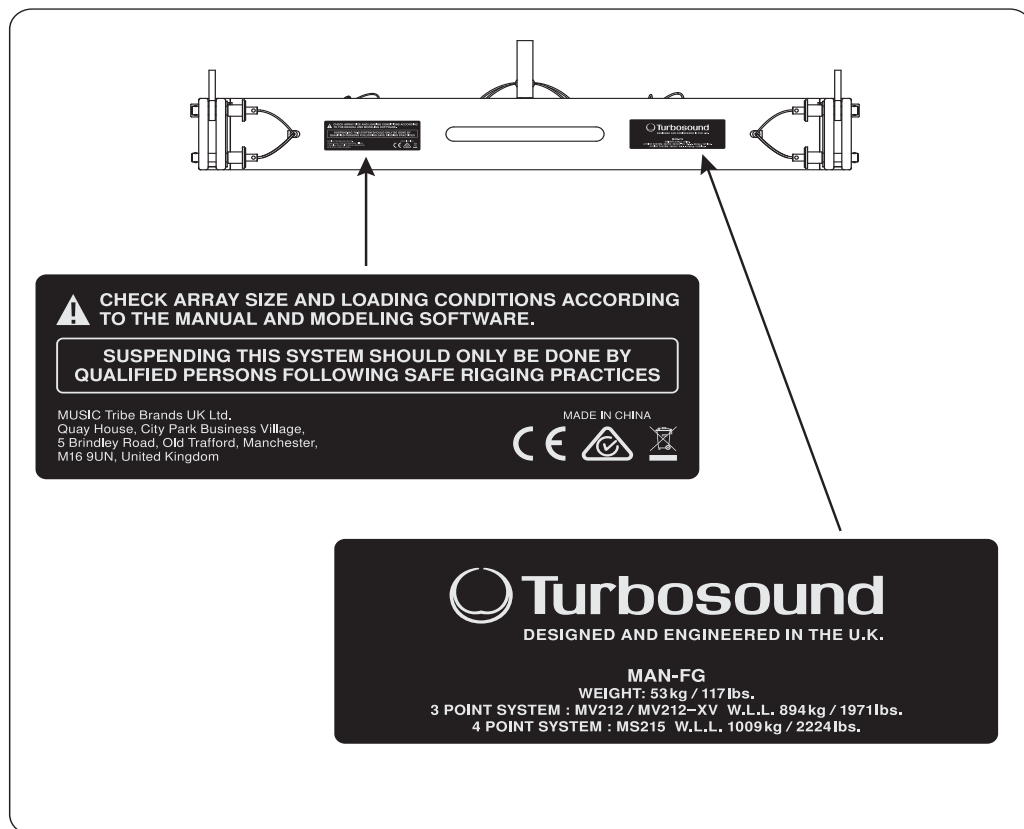
2.5 重み

アイテム	量	重量 (kg)	重量 (lbs)
ティップバー付き マン FG	1	53	116.9
MV212	1	53	116.9
MV212-XV	1	50	110.2
MS215	1	83	183
MS218	1	97	213.9

2.6 MAN-FG フライグリッド動作負荷制限 (WLL)

アイテム	WLL (kg)	WLL (lbs)	設計係数
3 ポイントサ スペンション (MV212 および MV212-XV 用)	894	1971	10:1
4 ポイントサ スペンション (MS215 用)	1009	2224	10:1

2.7 MAN-FG フライグリッド安全警告ラベル

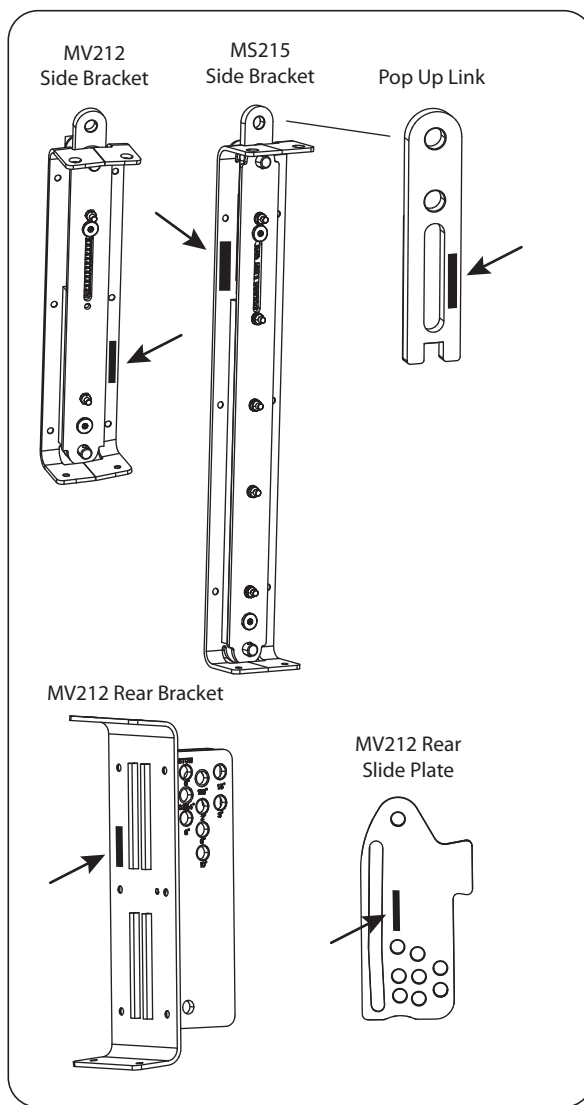
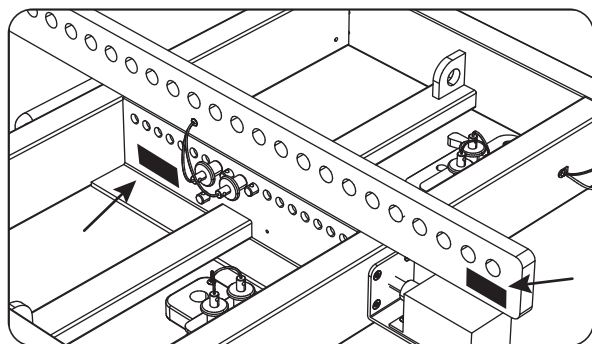
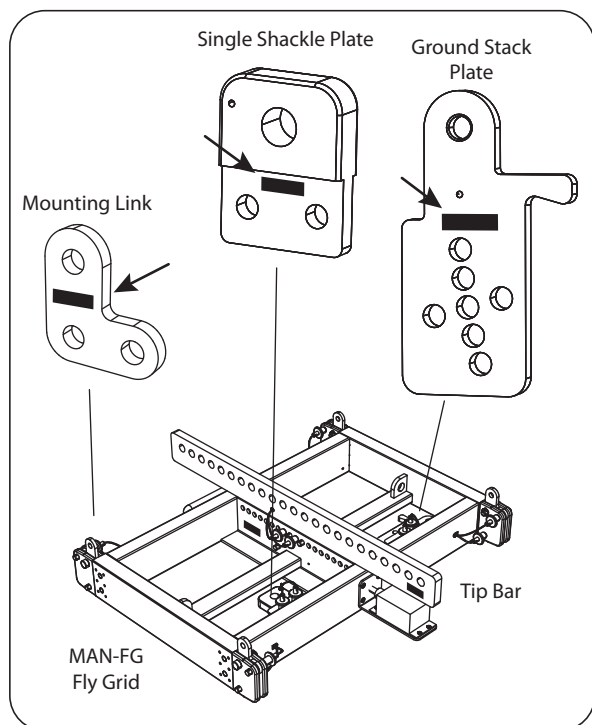


2.8 リギングコンポーネントトレーサビリティマーキング

リギングシステムの各コンポーネントには、トレーサビリティの目的で識別できる番号が付けられています。次の図は、さまざまなコンポーネントのトレーサビリティ マーキングの位置を示しています。

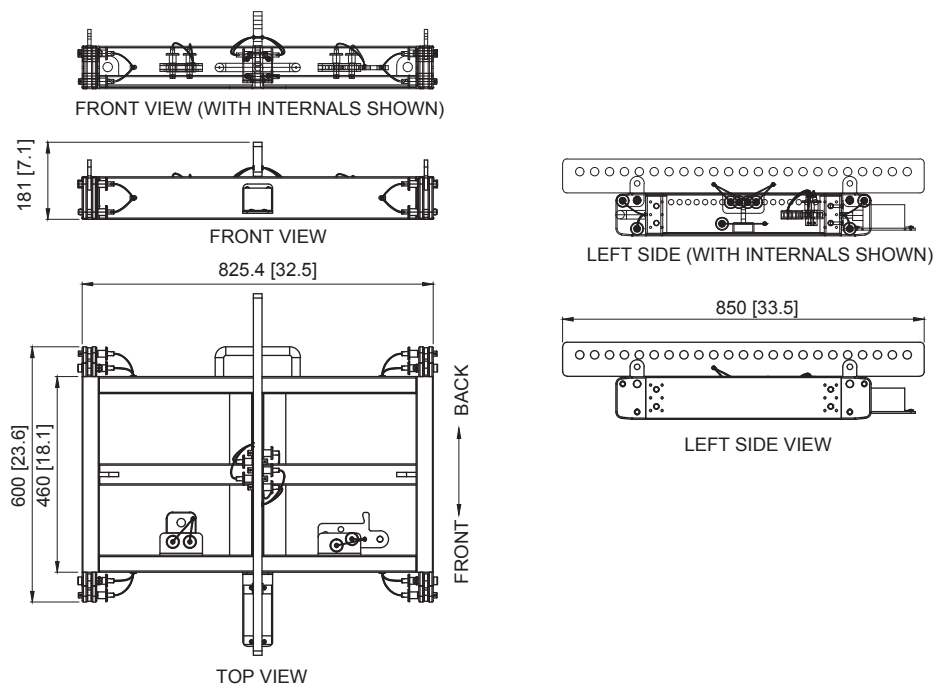
注: これらはスペアパーツを注文するための部品番号ではありません。

リギングコンポーネントトレーサビリティマーキング



2.9 MAN-FG フライグリッド寸法

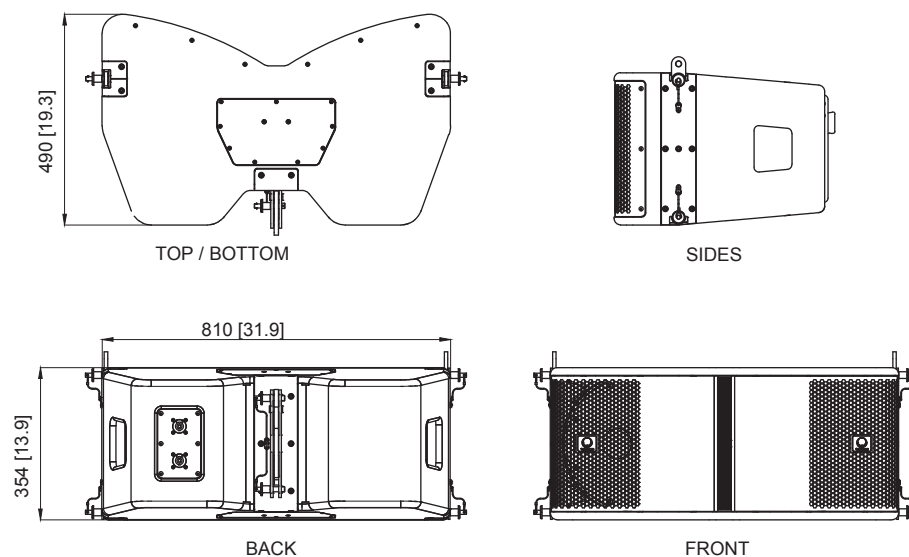
点検、手入れ、保守については、第 9 章を参照してください。



Dimensions in mm [Inches]

2.10 MV212 キャビネット寸法

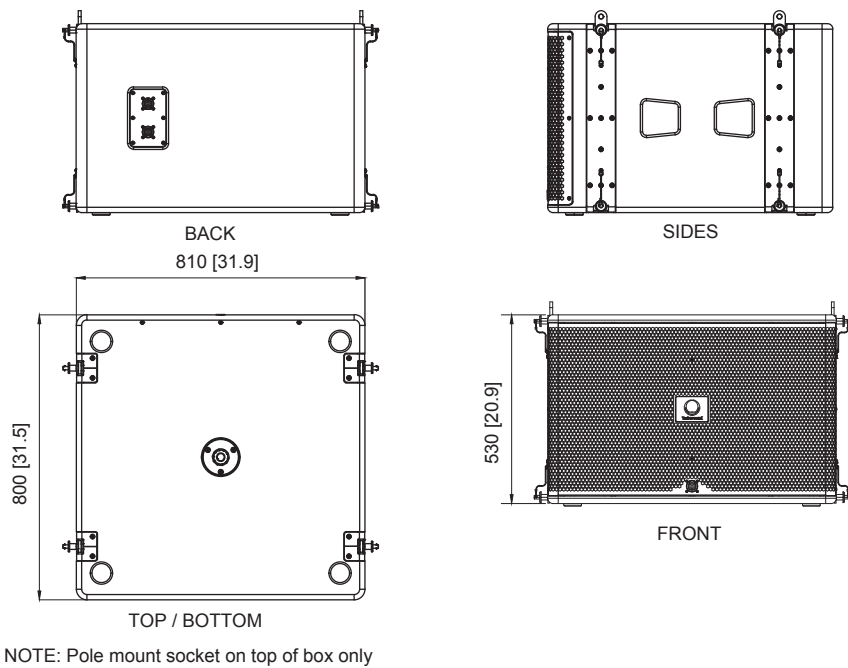
点検、手入れ、保守については、第 9 章を参照してください。



Dimensions in mm [Inches]

2.11 MS215 サブウーファー寸法

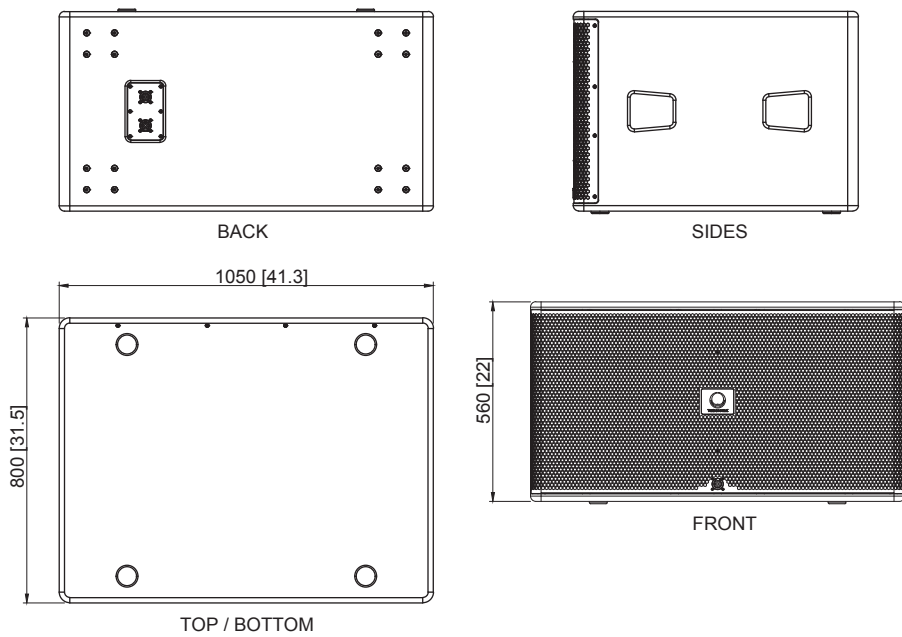
点検、手入れ、保守については、第 9 章を参照してください。



Dimensions in mm [Inches]

2.12 MS218 サブウーファー寸法

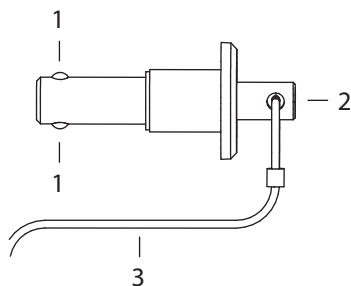
点検、手入れ、保守については、第 9 章を参照してください。



Dimensions in mm [Inches]

2.13 リギングピン

点検、手入れ、保守については、第 9 章を参照してください。



これらのクイックリリースピンは、MAN-FG フライゲリッド、MV212 キャビネット、および MS215 サブウーファーの組み立てのための基本的な機械的ファスナーです。

1. **スプリングボール** – これらは、ピンが挿入されると引き抜かれるのを防ぐロック装置です。
2. **スプリングリリース** – このボタンを押すと、スプリングボール (1) がロック解除され、ピンを取り付け穴とリンクに挿入できます。このボタンを放すと、スプリングボールがロックされ、ピンが引き抜かれるのを防ぎます。
3. **ストラップ** – これらはピンが簡単に失われるのを防ぎます。



警告

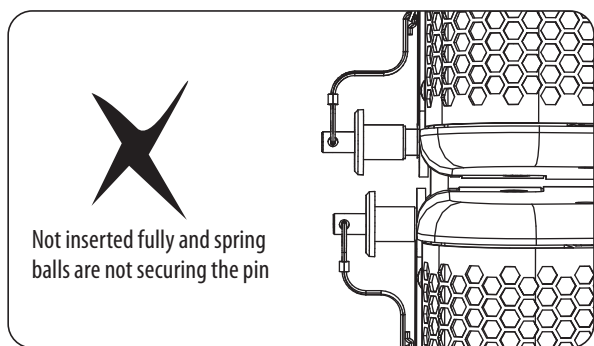
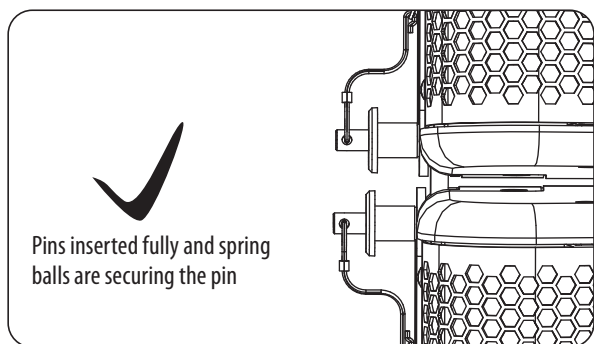
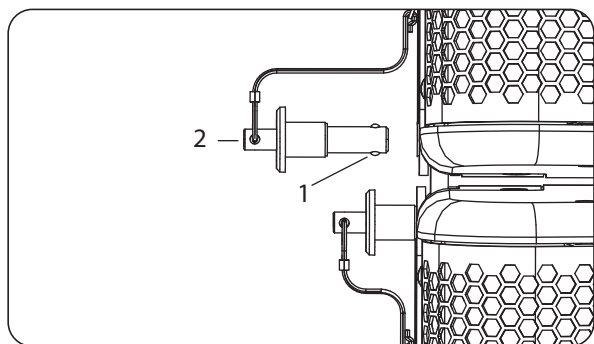
使用する前に、すべてのピンに破損がないかどうかを検査し、スプリングロック機構が正しく動作していることを確認してください。損傷の兆候を示すピンは使用しないでください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。



警告

すべての使用前に、すべてのピンが清潔で、スプリングロック機構の正しい動作を妨げる可能性のある汚れや破片がないことを確認してください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

2.13.1 リギングピンの取り付け



ピンのインストール

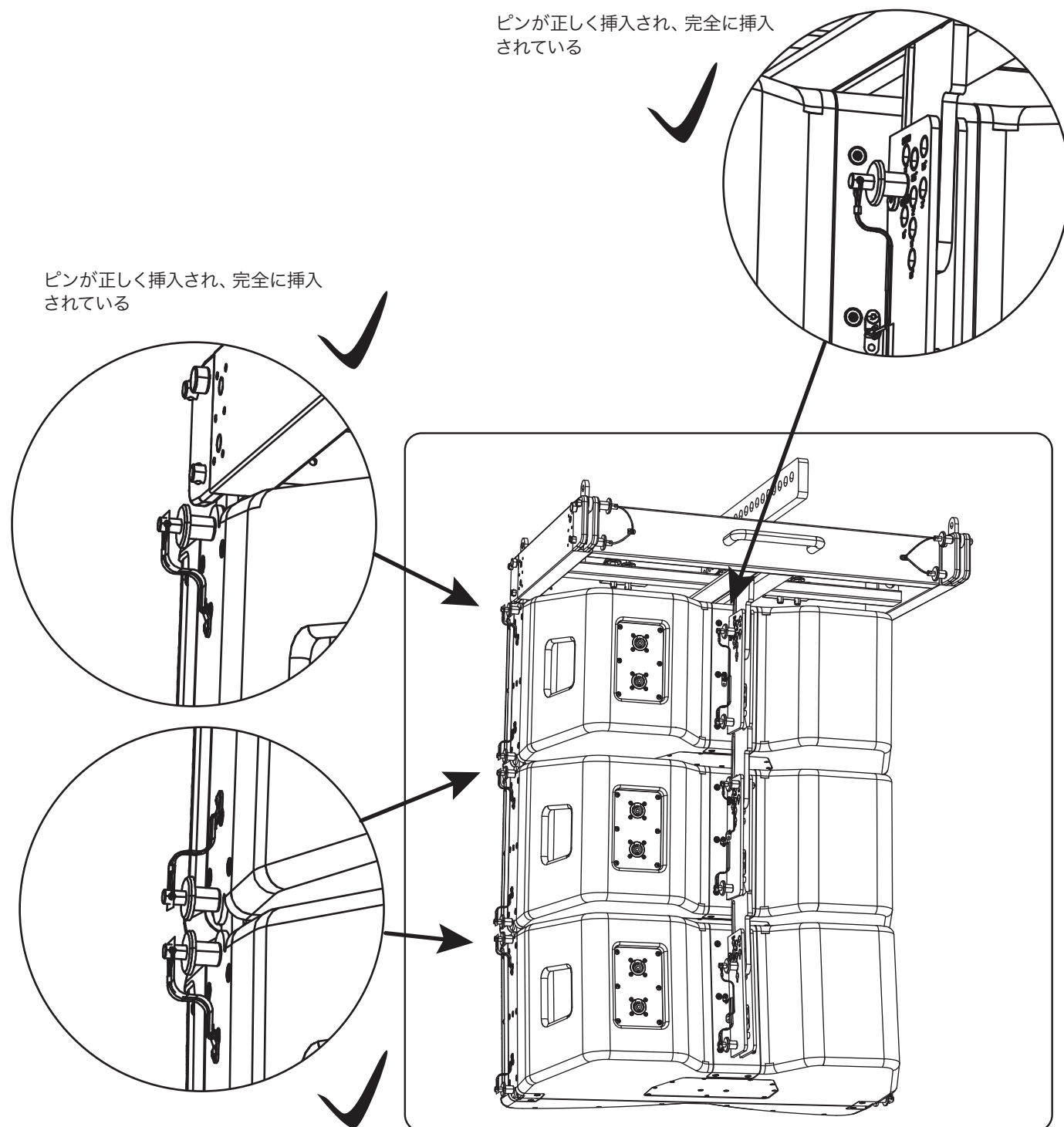
次の例は、クイック リリース ピンを使用して 2 つの MV212 キャビネットを結合する方法を示しています。これは例として1つのピンを示していますが、すべてのピンを取り付ける必要があります。さまざまな構成の接続の正確な詳細は、このマニュアルのさまざまな章で説明されています。

1. 結合するコンポーネントの重量をサポートします。
2. 上部の MV212 キャビネットの下側のピンを引き出します。
3. 下部の MV212 キャビネットの上部取り付けリンクを上部キャビネットの取り付けスロットに合わせます。ピンが通過して結合できるように穴を合わせます。
4. ピンの端にあるボタン (2) を押し、ピンを奥まで差し込みます。ボタンが押されている間、スプリングボール (1) は後退し、ピンが穴を通過することを可能にします。
5. ピンが完全に挿入されたら、ボタン (2) を放します。
6. ピンがどこまでも正しく挿入されていることを確認し、接続するコンポーネントがピンによって正しくキャプチャされていることを確認します。
7. 部品の重量を支えたまま、ボタン (2) を押さずにピンを急激に引っ張り、スプリングボールロック機構で所定の位置に固定されていることを確認します。

ピンの取り外し

1. 取り外すコンポーネントの重量を支えます。
2. ボタン (2) を押して、コンポーネントを結合しているピンを引き出します。
3. コンポーネントを慎重に分離します。

2.13.2 リギングピンが使用される典型的な場所

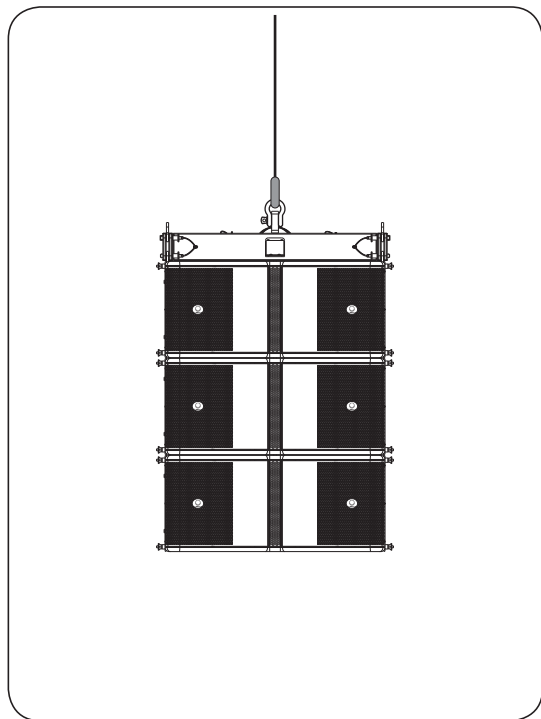


警告

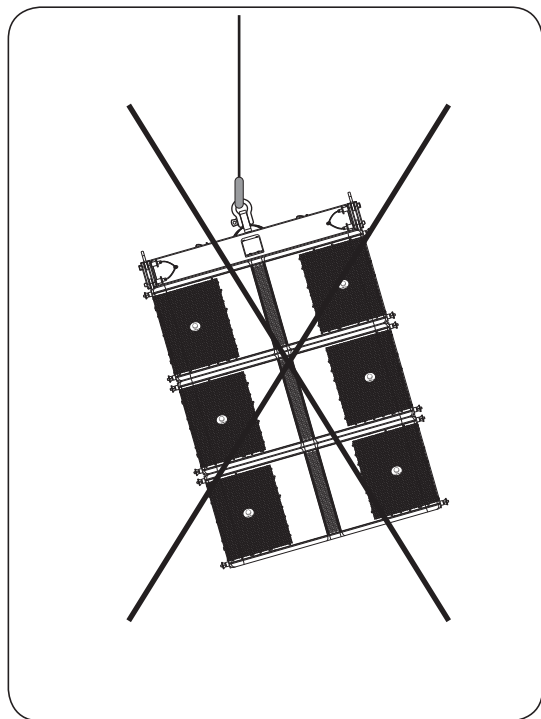
各ピンが正しく挿入されていること、および最初にリリースボタンを押さなければ各ピンを引き抜くことができないことを確認します。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

2.14 垂直方向

正しいインストール



誤ったインストール



垂直方向のみ!

MV212 キャビネット、MS215 サブウーファー、および MAN-FG フライグリッドの機械設計は、リンクとクイックリリースピンを使用してさまざまなコンポーネントを組み立てます。機械的強度は、キャビネットの金属サイドピースとピンから得られ、木製のキャビネットからではありません。キャビネットは、互いに垂直に、フライグリッドの下に垂直に支持されています。



警告

アセンブリは、キャビネットとサブウーハーの側面が常に垂直面に保たれるように方向付ける必要があります。これを怠ると、機械構造のひずみや破損を引き起こし、永久的な傷害や死亡につながる可能性があります。



警告

この図は、キャビネットの側面が垂直面でない誤った設置を示しています。これは、機械的構造のひずみや故障を引き起こし、永久的な傷害または死亡につながる可能性があります。

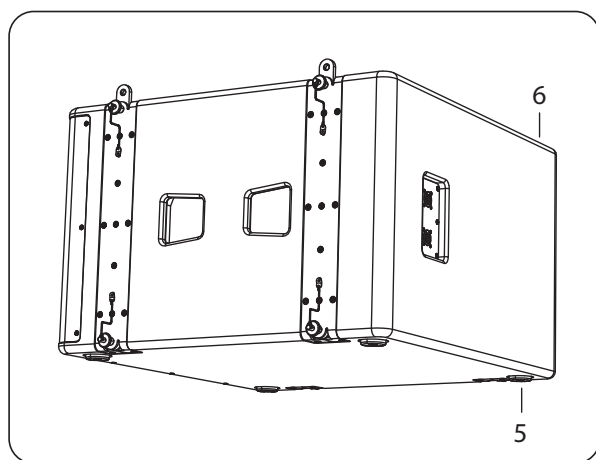
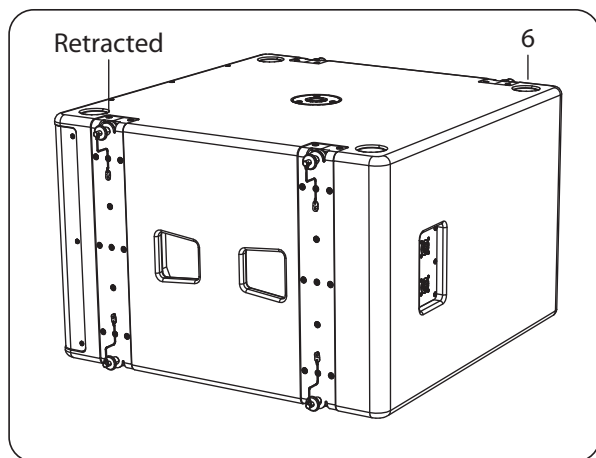
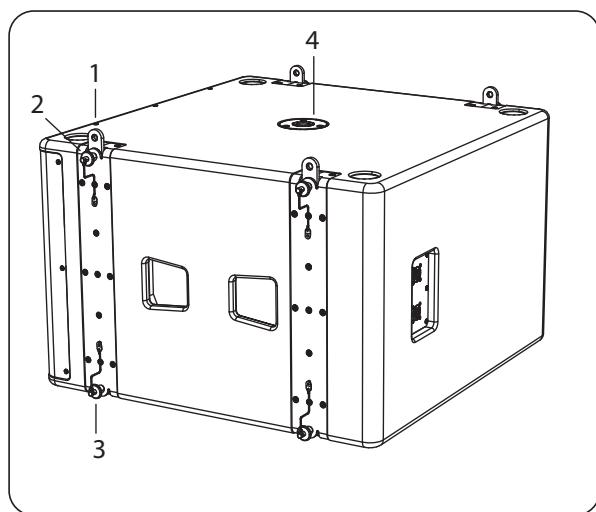


警告

MV212 キャビネット、MS215 サブウーファー、およびマン FG フライグリッドは登ってはいけません。これは、機械的構造のひずみや故障を引き起こし、永久的な傷害または死亡につながる可能性があります。

2.15 MS215 サブウーファー取り付け部品

リンクのマウントアウト

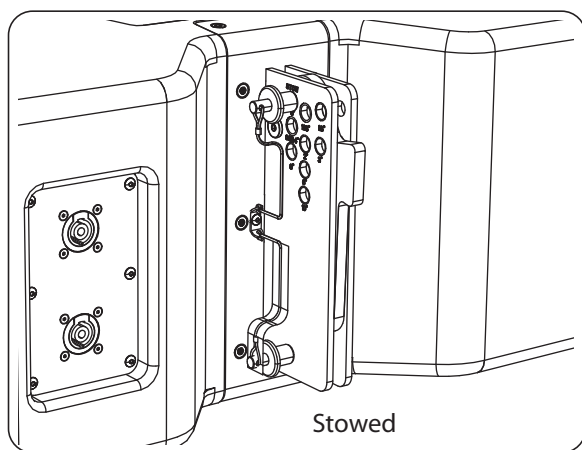
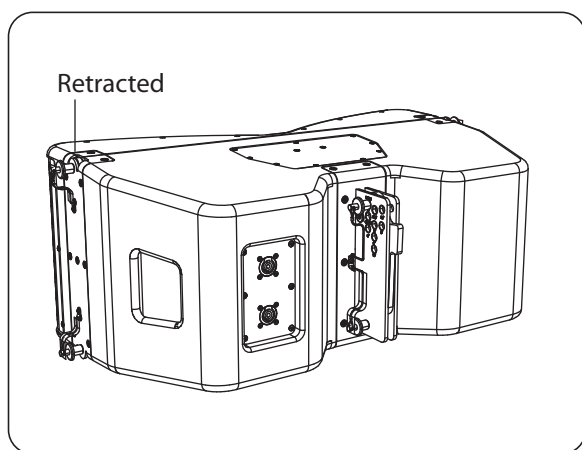
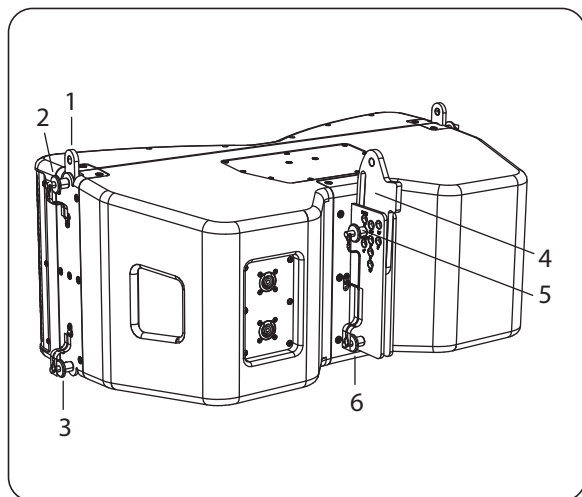


MS215 サブウーファーには、上部に 4 つの格納式取り付けリンク (1)、下部に 4 つの対応する取り付け穴 (3) があります。これらの取り付けコンポーネントにより、サブウーファーを MAN-FG フライグリッドに取り付けたり、他の MS215 サブウーファーに取り付けたりすることができます。

MS215 サブウーファーは、後発火または前方発射の向きで互いに取り付けられることもできる。フロントスピーカー入力、リアファイアリングサブウーファーへの接続を簡素化するために提供されています。

1. **トップマウントリンク** – これらのキャプティブマウントリンクはスプリング式で、上下の位置に設定できます。これらは、上記の MS215 サブウーファーの対応するスロット、または MAN-FG フライグリッドに収まります。上向きの位置に設定するには、ピン (2) を抜くとリンク (1) が跳ね上がります。ピンを挿入し直して、上向きの位置に固定します。引っ込めるには、ピンを引き出し、リンクを下方向に押し下げて、ピンで下の位置に固定します。
2. **トップピン** – 取り付けリンクを上下の位置に固定します。
3. **ボトムピン** – サブウーハーを別の MS215 の上部取り付けリンクまたはその下の MAN-FG フライグリッドに固定します。
4. **ボールマウント** – この M20 (3/4 インチ / 20 mm スレッド) ボールマウントソケットは、サテライトスピーカー構成をサポートするために提供されています。
5. **フィート** – 各サブウーファーに4フィートが用意されています。
6. **足のくぼみ** – これらは、リンク (1) とピン (2) と (3) と一緒に固定することに加えて、サブウーファーを 1 つずつ取り付けるときにサブウーファーを合わせるのに役立ちます。

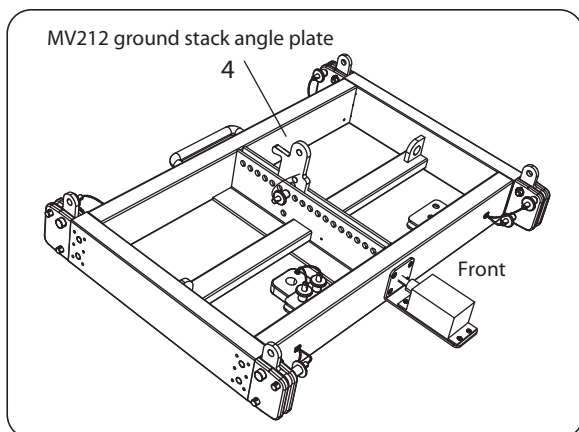
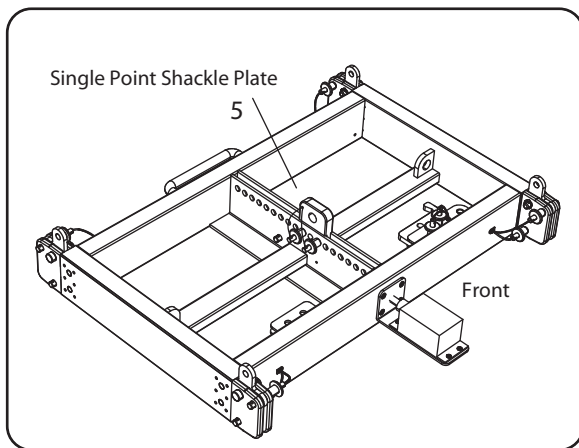
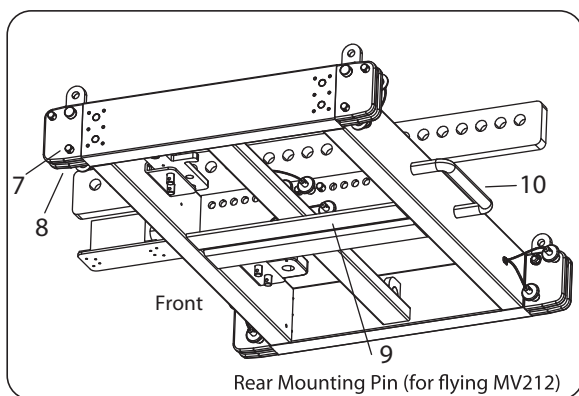
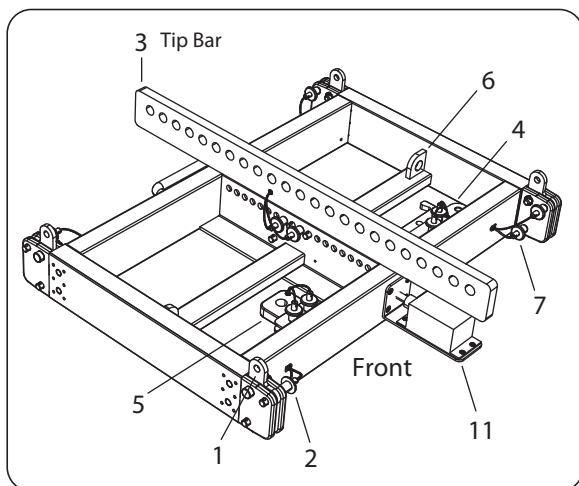
2.16 MV212 キャビネット取り付けコンポーネント



MV212 キャビネットには、上部に 2 つの格納式取り付けリンク (1) と、キャビネット間の角度を設定できる調整可能なリアリンク (4) があります。下部に 2 つの対応するフロントスロットがあり、リアに 1 つ、固定ピンがあります。これらの取り付けコンポーネントにより、MV212 キャビネットを一緒に接続し、MAN-FG フライグリッドに接続し、MS215 サブウーファーを MAN-FG フライグリッドで取り付けることができます。

1. **トップマウントリンク** – これらのキャプティブマウントリンクはスプリング式で、上下の位置に設定できます。取り付けリンクは、上の MV212 の下部スロット、または MAN-FG フライグリッドに収まります。上向きの位置に設定するには、ピン (2) を抜くとリンクが跳ね上がります。ピンを挿入し直して、上向きの位置に固定します。引っ込めるには、ピンを引き出し、リンクを下向きに押し、ピン (2) で下の位置に固定します。
2. **トップピン** – 取り付けリンクを上下の位置に固定します。
3. **ボトムピン** – キャビネットを別の MV212 の上部取り付けリンクまたはその下の MAN-FG フライグリッドに固定します (グラウンドスタッキング時)。
4. **リアマウントプレート** – このキャプティブスライドプレートは、上のキャビネットのリアマウントポイント、または MAN-FG フライグリッドに取り付けられます。キャビネットの角度は、背面ピン (5) を 9 つの異なる穴の 1 つに接続することで調整できます。
5. **背面ピン** – このピンは、背面取り付けプレート (4) を所定の位置に固定します。キャビネットの角度は、ピンを 9 つの異なる穴の 1 つに接続することで調整でき、それぞれに角度が付いています。
6. **ボトムリアピン** – このピンは、下のキャビネットのリアマウントプレート (4) の上部穴、または MAN-FG フライグリッドのリアグラウンドスタックプレート (グラウンドスタッキング時) に接続します。

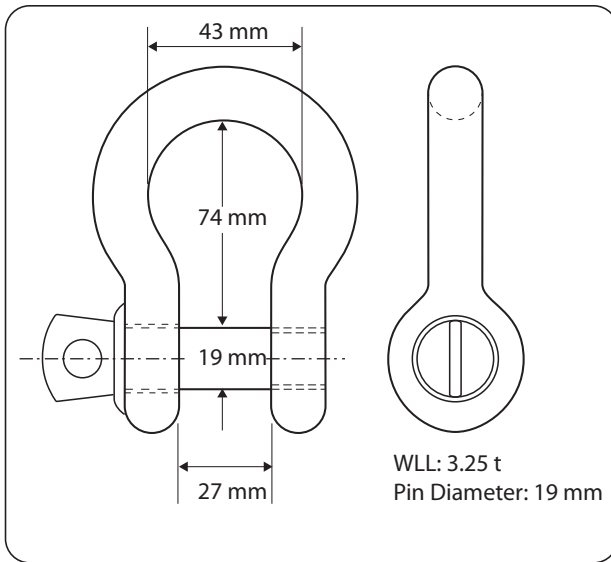
JP 2.17 MAN-FG フライグリッドマウント部品



MAN-FG フライグリッドは、MV212 キャビネットと MS215 サブウーファーでのみ使用してください。他のキャビネットで動作するように設計されていません。

1. **取り付けリンク** – これらの格納式リンクは、フライグリッドを MV212 キャビネットまたは MS215 サブウーファーの下部取り付けスロットに接続します。接続は、MV212 キャビネットまたは MS215 サブウーハーの下部ピンを使用して固定されています。
2. **リギングピン** – 取り付けリンク (1) を上下の位置に固定するために使用されます。
3. **チップバー** – これには、アセンブリを吊り下げるための弓枷または同様の持ち上げ装置を取り付けるために使用される直径 23 個の直径 20 mm の穴があります。EASE FOCUS ソフトウェアを使用して、各構成の正しいピックポイントを決定します。バーは 4 つのクイックリリースピンを使用してフライグリッドに取り付けられており、飛行前にすべてしっかりと取り付けを確認する必要があります。
4. **グランドスタックアングルプレート** – フライグリッドを MV212 の後部下取り付けポイントに取り付けて、グランドスタッキング用。プレートは、チップバー (3) を取り外した後、2 つのピンでフライグリッドに取り付けられます。MV212 は、このプレートの上部穴を MV212 の後部下取り付け穴に取り付けるためのピンを 1 つ有する。
5. **シングルポイントシャックルプレート** – これは、アセンブリを吊り下げるためのボウシャックルまたは同様の持ち上げ装置を取り付けるために使用される直径 20 mm の穴を 1 つ有する。EASE FOCUS ソフトウェアを使用して、各構成の正しいピックポイントを決定します。シャックルプレートは、チップバー (3) が取り外された後、2 つのクイックリリースピンを使用してフライグリッドに取り付けられます。
6. **取り付けリンク** – これらの溶接リンクには直径 22 mm の穴があり、フライグリッドへの二次安全を確保するために使用されます。
7. **下部ピン** – これらのピンは、フライグリッドを MV212 キャビネットまたは MS215 サブウーファーの上部取り付けリンクに固定します。MS215 サブウーハーを固定する場合は、4 つすべてを使用してください。MV212 キャビネットを固定する場合は、前面 2 ピンと背面ピン (9) を使用してください。
8. **取り付けスロット** – MV212 キャビネットまたは MS215 サブウーファーの上部取り付けリンクは、これらのスロットに収まり、ピン (7) と一緒に固定されます。
9. **リアピン** – このピンは、MV212 または MV212 アレイを飛行する際に MV212 リアマウントプレートを固定するために使用されます。
10. **ハンドル** – フライグリッドにはキャリングハンドルが取り付けられています。
11. **フロントブラケット** – このレーザーブラケットは、ユーザー提供の業界標準の傾斜計デバイスを使用して、アレイの正確な照準に使用されます。

おすすめのボウシャックル



MAN-FG フライグリッドのティップバーまたは単一のシャックルプレート上の 20 mm のサスペンションピックポイントに収まるように、ピン直径を持つ 1 つ以上のボウシャックルまたは同様の持ち上げ装置を取り付けて、アレイを吊り下げます。

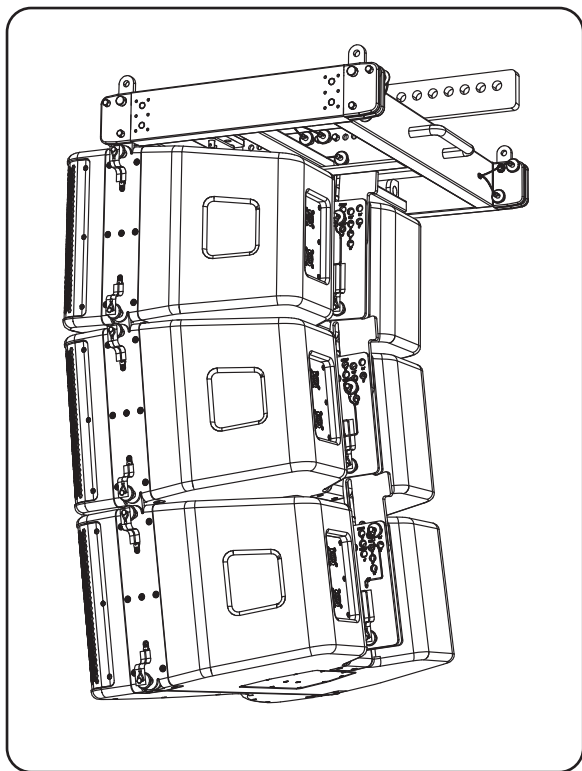
警告: 弓のシャックルの定格は 3.25 トンでなければなりません。



設置とセットアップは、事故防止のための有効な国内規則 (RPA) を遵守する資格と権限のある担当者のみが行う必要があります。詳細については、第 1 章を参照してください。

適切な弓のシャックルの製造の一例は、最高品質の認定シャックルを製造する Van Beest と呼ばれるオランダの会社です。

第 3 章: MAN-FG フライグリッド上の MV212 アレイのアセンブル



次の手順は、MV212 キャビネットの配列を一度に 1 つずつ追加して構築する方法を示しています。

あるいは、キャビネットを 4 つのグループに事前に組み立て、後でフライグリッドに接続することもできます。このメソッドを手順 3.2 に示します。

システムは、リフティングシステムに取り付けられた MAN-FG フライグリッドを使用して吊り下げられます。

上部の MV212 キャビネットは、フライグリッド上の 2 つのフロントマウントポイントと 1 つのリアマウントポイントに接続します。

MV212 の背面には 9 つの背面取り付け穴があり、キャビネットの角度を 0~10 度から選択できます。



警告

1 つのマン FG フライグリッドに対して 16 MV212 キャビネットの総量を超えないでください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

3.0.6 人員

以下の手続きは、経験豊富で、認定され、資格があり、権限のある職員のみが行うものとします。手続きには、3 人以上の権限のある人を使用する必要があります。

3.0.1 必要なコンポーネント

アイテム	量
マン FG フライグリッド	1
MV212 キャビネット	16 (最大 10:1 安全率)

3.0.2 準備

EASE FOCUS ソフトウェアアプリケーションを使用して、会場に合わせてシステムを設計します。これにより、ボウシャックルを取り付けるフライグリッド取り付け穴と、最適なカバレッジを達成するために各 MV212 キャビネットをどの角度に設定するかが計算されます。

3.0.3 場所

最初の MV212 キャビネットを移動して、サスペンションポイントのすぐ下の安全な平らな面に直立させます。

3.0.4 測定された重み

アイテム	量	重量	
ティップバー付き マン FG	1	53 kg	116.9 lbs
MV212	1	53 kg	116.9 lbs
MV212-XV	1	50 kg	110.2 lbs

3.0.5 MAN-FG フライグリッド WLL (10:1 安全率)

アイテム	作業負荷制限 (WLL) 3 点サスペンション	
MAN-FG	894 kg	1971 lbs



保護帽子は着用しなければならない



保護靴は着用しなければならない



保護手袋を着用しなければならない

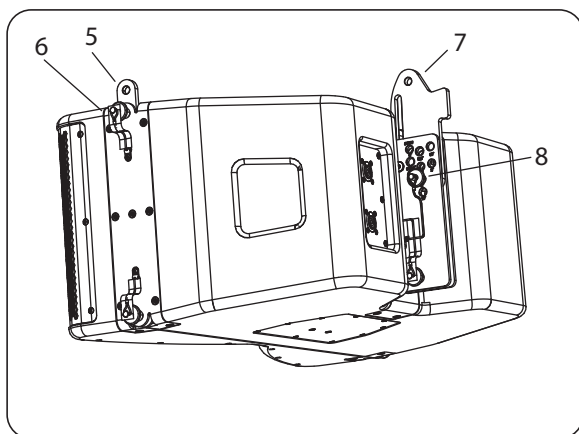
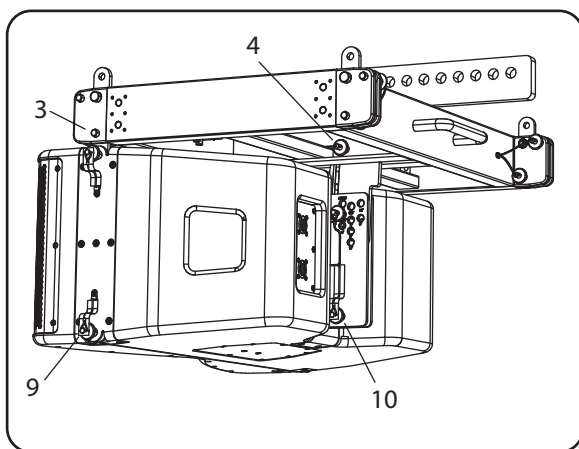
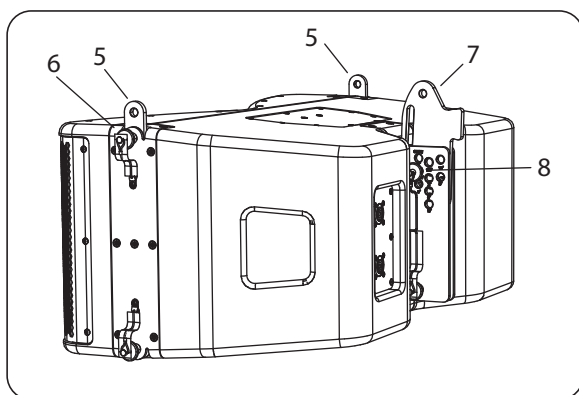
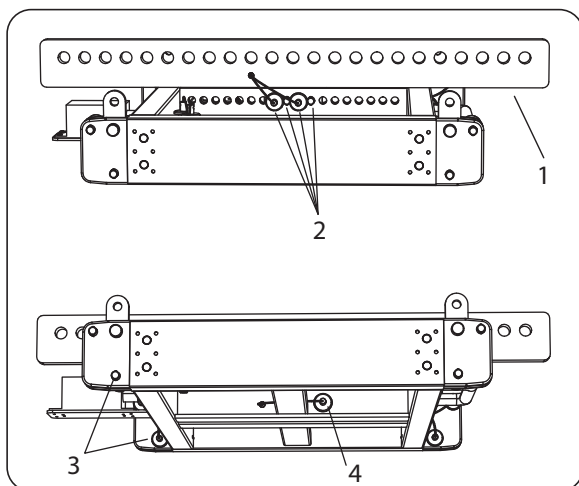


保護メガネを着用しなければならない



安全なリフティングを練習する

手順 3.1 MV212 キャビネットを MAN-FG に接続する



1. チップバー (1) を MAN-FG フライグリッドに取り付け、4 本のリギングピン (2) を使用して固定します。
2. 先に進む前に、すべてのピンが正しく挿入されていることを再確認してください。
3. 前面リギングピン (3) と背面リギングピン (4) の 2 つを取り外して、MAN-FG を準備します。
4. すべての MV212 キャビネットを準備して、フロントリギングピン (6) を引き出し、スプリング式のトップリンク (5) が上向きの位置に移動するようにします。ピン (6) を挿入し直して、リンクを上向きの位置に固定します。MV212 の背面ピン (8) を取り外し、背面取り付けプレート (7) を上にスライドさせます。背面ピン (8) を適切な穴に挿入し直して、プレートを固定します。

注: 通常、フライグリッドに平行な上部要素のサイト角度を設定するために、上部 MV212 エンクロージャを MAN-FG に接続するために 0 度の穴が選択されます。これにより、MAN-FG は、オーディエンス領域でのアレイのフォーカスをチェックするための視覚的な参照として機能します。つまり、MAN-FG の上部が見える場合は、アレイの垂直カバレッジ パターンの外側にいます。

5. 最初の MV212 キャビネットの上部にある MAN-FG フライグリッドを慎重に持ち上げ、フライグリッドの前面下部取り付け穴をキャビネットの上部取り付けリンクに合わせます (5)。フライグリッドのフロントピン (3) を挿入して、取り付けリンク (5) をフライグリッドに固定します。コンポーネントの間に指を挟まないように注意してください。フライグリッドの背面を支え、MV212 リアマウントプレート (7) の穴をフライグリッドのリアホールに合わせます。背面ピン (4) を挿入し直して、プレートをフライグリッドに固定します。

コンポーネントの間に指を挟まないように注意してください。



6. フライグリッドの背面をサポートし、MV212 リアマウントプレート (7) の穴をフライグリッドのリアホールに合わせます。背面ピン (4) を挿入し直して、プレートをフライグリッドに固定します。

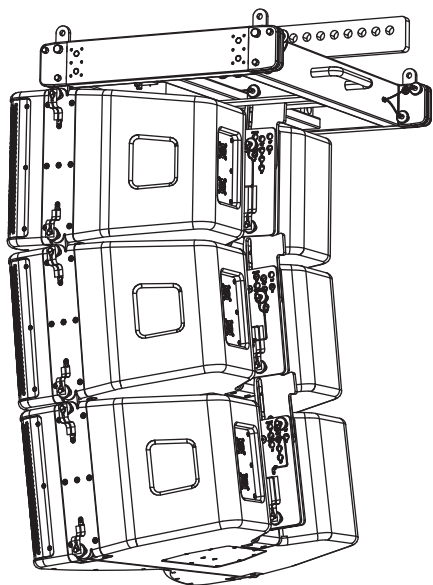
先に進む前に、すべてのピンが正しく挿入されていることを再確認してください。



7. 弓のシャックルやその他の持ち上げ装置を、EASE FOCUS ソフトウェアが推奨するチップバー取り付け穴にしっかりと取り付け、フックとチェーンを取り付けます。フライグリッド/キャビネットアセンブリを適切な作業高さまで慎重に持ち上げて、次のキャビネットを取り付けることができます。
8. MV212 キャビネットの前面下部ピン (9) と背面ピン (10) を取り外します。
9. 手順 4 の説明に従って、次の MV212 キャビネットを準備します。
10. 下部キャビネットの上部リンク (5) が上部キャビネット下部の対応するスロットに収まるまで、フライグリッド/キャビネットアセンブリを慎重に下ろします。上部キャビネットの前面 2 本のピン (9) を挿入し、リンク (5) をスロットに固定します。

コンポーネントの間に指を挟まないように注意してください。





16 Maximum (10:1 Safety Factor)

11. 下部キャビネットの背面を支え、背面取り付けプレート (7) の穴を上部キャビネットの背面穴に合わせます。背面ピン (10) を挿入して、プレートをキャビネットに固定します。ピン 8 の穴は、0~10 度の角度でマークされています。このキャビネットの EASE FOCUS ソフトウェアが推奨する角度に対応する正しい穴を選択してください。

先に進む前に、すべてのピンが正しく挿入されていることを再確認してください。



12. 他の MV212 キャビネットの追加は、追加のキャビネットごとにステップ 8~11 を繰り返すことによって実行される。



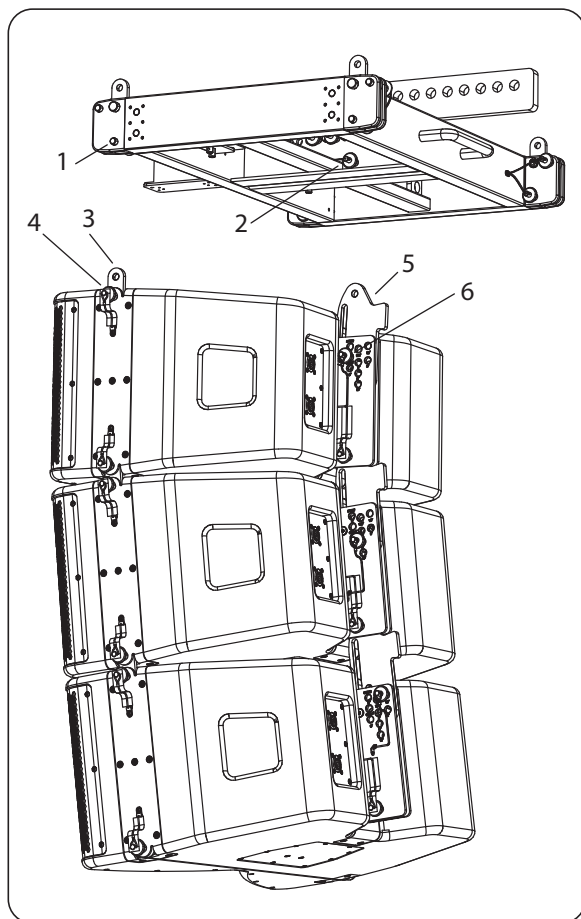
警告

1 つのマン FG フライグリッドに対して 16 MV212 キャビネットの総量を超えないでください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

手記

分解は組み立ての逆です。

手順 3.2: MV212 キャビネットのグループを MAN-FG フライグリッドに追加する



MV212 キャビネットのグループは、手順 3.1、ステップ 8~11 を使用して事前に組み立て、飛行直前に組み立てられたグループとして MAN-FG フライグリッドに接続できます。

MV212キャビネットは、前面取り付けリンク (3) と背面取り付けプレート (5) を使用して相互に接続します。

1. MAN-FG フライグリッドを準備するには、4 本のピンでチップバーを取り付け、MAN-FG 2 のフロントピン (1) とリアピン (2) を取り外します。
2. フロントリギングピン (4) を引き出し、バネ式のトップリンク (3) が上向きに位置に移動するように、グループの上部 MV212 キャビネットを準備します。ピン (4) を挿入し直して、リンクを上向きの位置に固定します。MV212 の背面ピン (6) を取り外し、背面取り付けプレート (5) を上にスライドさせます。背面ピン (6) を適切な穴に挿入して、プレートを固定します。
3. MAN-FG フライグリッドを上部の MV212 キャビネットに慎重に持ち上げ、フライグリッドのフロントスロットをキャビネットのフロントリンク (3) に合わせます。前面ピン (1) を挿入し直して、キャビネットのリンク (3) をフライグリッドに固定します。

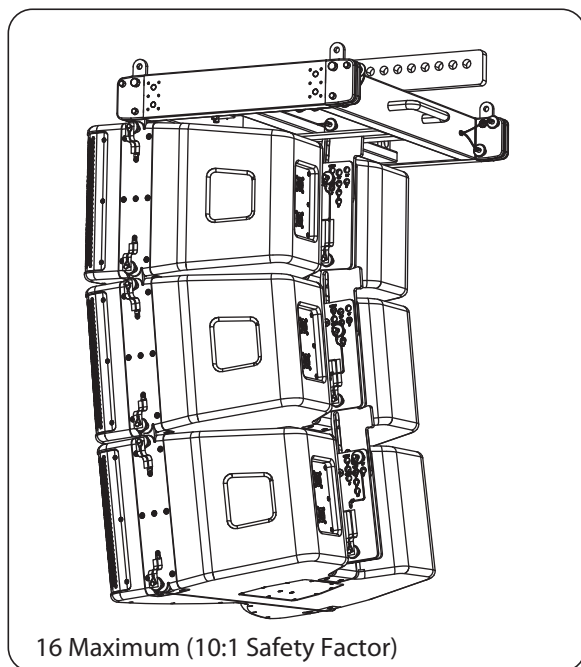
コンポーネントの間に指を挟まないように注意してください。



4. フライグリッドの背面を支え、フライグリッドの背面取り付け穴を MV212 リアプレートの上部穴に合わせます (5)。フライグリッドのリアピン (2) を挿入して、プレートをフライグリッドに固定します。
5. キャビネットの角度は、背面プレートを上下に動かし、0~10 度の角度でマークされた穴の1つにピン (6) を挿入することによって選択することができます。最初の MV212 キャビネット用の EASE FOCUS ソフトウェアが推奨する角度に対応する正しい穴を選択してください。

注: 通常、フライグリッドに平行な上部要素の角度を設定するために、上部 MV212 エンクロージャを MAN-FG に接続するために 0 度の穴が選択されます。これにより、MAN-FG は、オーディエンス領域でのアレイのフォーカスをチェックするための視覚的な参照として機能します。つまり、MAN-FG の上部が見える場合は、アレイの垂直力バレッジ パターンの外側にいます。他のキャビネットの角度は、キャビネットの重量を支え、様々なキャビネットの背面プレート (5) を動かし、ピン (6) を所望の角度の穴に挿入することによって調整することができます。

すべてのピンが正しく挿入されていることを再確認してください。



16 Maximum (10:1 Safety Factor)



警告

1 つのマン FG フライグリッドに対して 16 MV212 キャビネットの総量を超えないでください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。



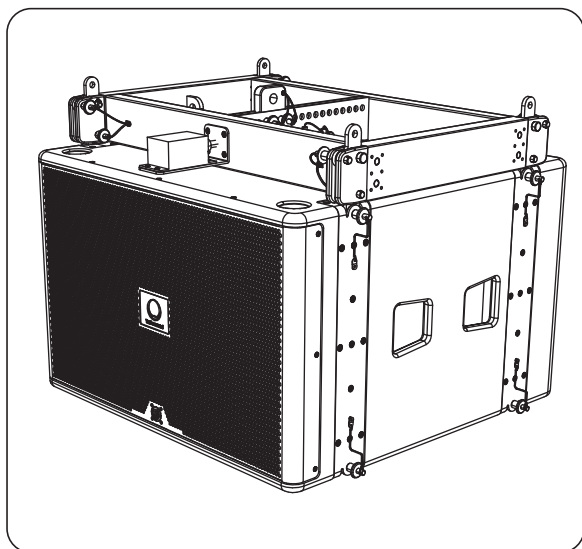
警告

MV212 キャビネットの組み立て済みグループを、MAN-FG フライグリッドなしで飛行させないでください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

手記

分解は組み立ての逆です。

第 4 章: MAN-FG フライグリッド上の MS215 サブウーファーの組み立て



次の手順では、MS215 サブウーファーを MAN-FG フライグリッドに組み立てる方法について説明します。

MAN-FG フライグリッドは、サブウーハーの 4 つの取り付けリンクと MAN-FG フライグリッドの 4 つの下部リギングピンを使用し、MS215 サブウーファーの上部に取り付けられています。



警告

1 つのマン FG フライグリッドに対して 12 MS215 サブウーファーの合計量を超えないでください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

4.0.6 人員

以下の手続きは、経験豊富で、認定され、資格があり、権限のある職員のみが行うものとします。手続きには、3 人以上の権限のある人を使用する必要があります。

4.0.1 必要なコンポーネント

アイテム	量
マン FG フライグリッド	1
MS215 サブウーファー	12 (最大)

4.0.2 準備

EASE FOCUS ソフトウェアアプリケーションを使用して、会場に合わせてシステムを設計します。これにより、弓のシャックルを取り付けるフライグリッド取り付け穴が計算されます。

4.0.3 場所

最初の MS215 サブウーハーを動かして、サスペンションポイントのすぐ下の安全な平らな面に直立させます。

4.0.4 測定された重み

測定重量			
アイテム	量	重量	
MAN-FG	1	53 kg	116.9 lbs
MS215	1	83 kg	183 lbs

4.0.5 MAN-FG フライグリッド WLL (10:1 安全率)

アイテム	作業負荷制限 (WLL) 4 ポイントサスペンション	
MAN-FG	1009 kg	2224 lbs



保護帽子は着用しなければならない



保護靴は着用しなければならない



保護手袋を着用しなければならない

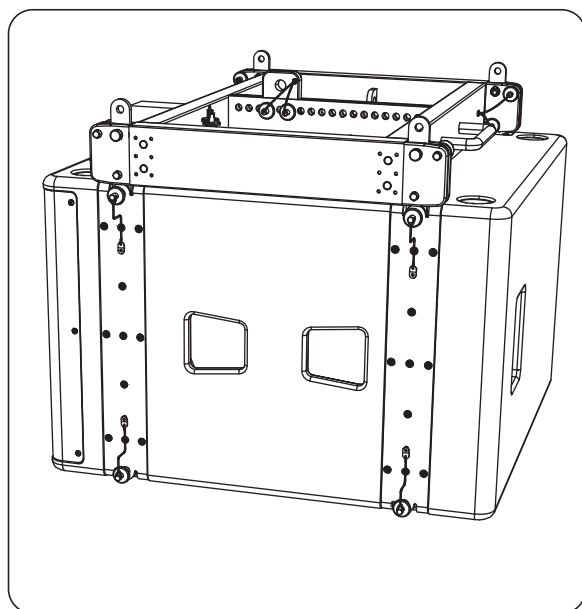
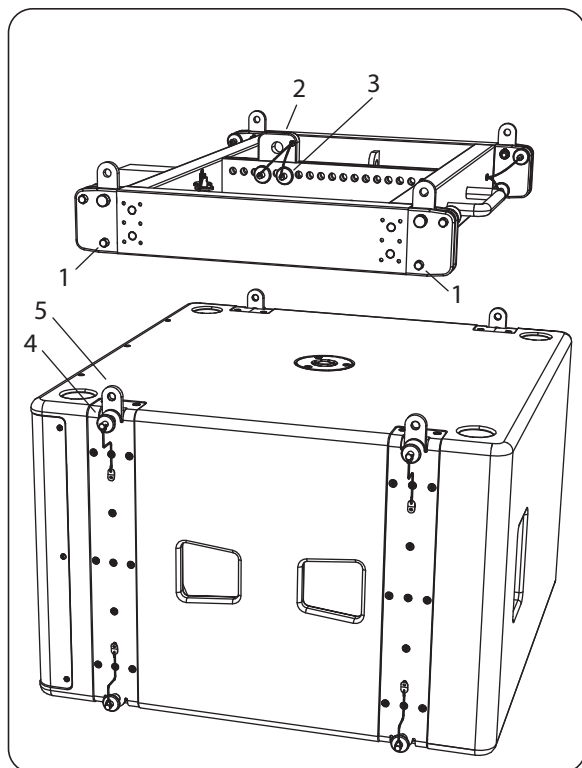


保護メガネを着用しなければならない



安全なリフティングを練習する

手順 4.1 MS215 サブウーハーを MAN-FG フライグリッドに接続する



1. MAN-FG フライグリッドを準備するには、4 本の下部リギングピンを引き出します (1)。2 つのリギングピン (3) を使用して、単一のシャックルプレート (2) を EASE FOCUS ソフトウェアが推奨するフライグリッド取り付け位置に取り付けます。
2. MS215 サブウーハーを準備するには、トップリンク (5) が跳ね上がるように 4 つのトップピン (4) を引き出します。上部のピン (4) を挿入し直して、リンクを上向きの位置に固定します。

先に進む前に、すべてのピンが正しく挿入されていることを再確認してください。



3. MS215 サブウーハーの上部にある MAN-FG フライグリッドを慎重に持ち上げ、フライグリッドの下部取り付けスロットをサブウーハーのトップリンク (5) に合わせます。フライグリッドの 4 ピン (1) を挿入して、フライグリッドをサブウーハーのトップリンク (5) に固定します。

コンポーネントの間に指を挟まないように注意してください。

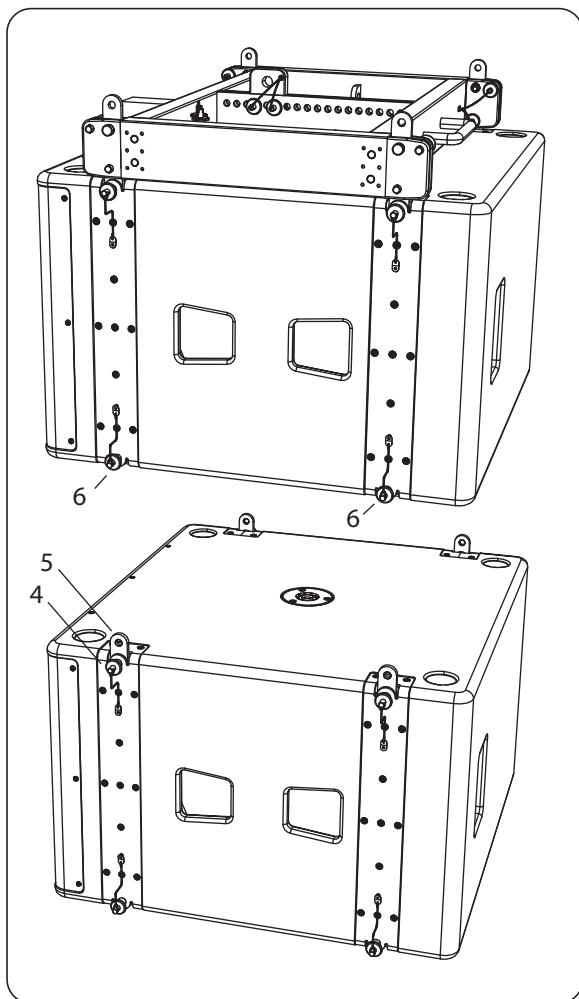


先に進む前に、すべてのピンが正しく挿入されていることを再確認してください。



4. 2 番目のサブウーファーを取り付けるには、まずフライグリッドシャックルプレート (2) にボウシャックルまたはその他の持ち上げ装置を取り付け、次にフックとチェーンを取り付けます。フライグリッド / サブウーハーアセンブリを適度な作業高さまで慎重に持ち上げて、下部サブウーハーを取り付けることができます。
5. 下側の MS215 サブウーハーを上側のサブウーハーのすぐ下の位置に移動します。それが平らな安定した表面に置かれていることを確認してください。

JP



6. 上部サブウーハーの下部ピン 4 本を取り外して準備します(6)。
7. 上部の 4 つのピン (4) を引き出し、トップリンク (5) が跳ね上がるようにして、下部サブウーハーを準備します。上部のピン (4) を挿入し直して、リンクを上向きの位置に固定します。
8. 上部サブウーハーとフライグリッドアセンブリを下段のサブウーハーに慎重に下ろし、下部サブウーハーの上部リンク (5) を上部サブウーハー下部の対応するスロットに合わせます。

コンポーネントの間に指を挟まないように注意してください。



9. 上部サブウーハーの下部 4 本のピン (6) を挿入して、サブウーハーを一緒に固定します。

すべての接続を再確認して、MS215 サブウーファーと MAN-FG フライグリッドがしっかりと接続されていることを確認します。



10. もう 1 つの MS215 サブウーファーの添加は、ステップ 6~9 を繰り返すことによって行われる。

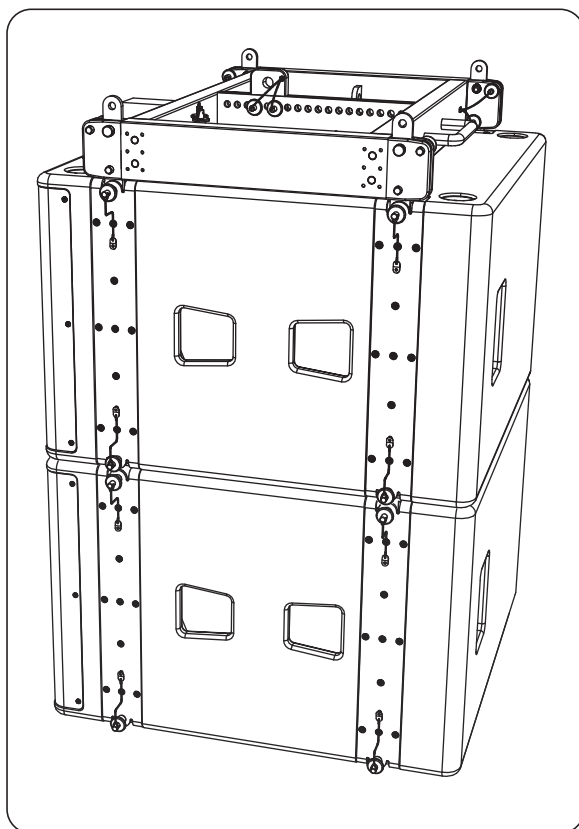


警告

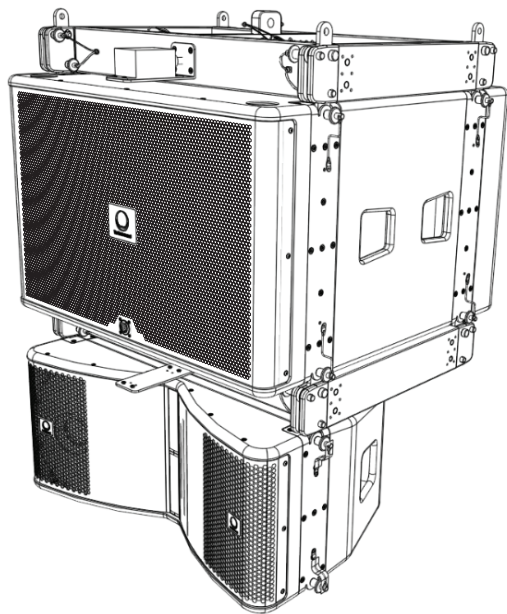
1 つのマン FG フライグリッドに対して 12 MS215 サブウーファーの合計量を超えないでください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

手記

分解は組み立ての逆です。



第 5 章: MS215 サブウーファーを使用した MV212 アレイの組み立て



次の手順では、1 つの MS215 サブウーファーとその下の MV212 キャビネットからなる混合アレイを組み立てる方法について説明します。

1 つの MAN-FG フライグリッドは、MAN-FG フライグリッドに付属のコンポーネントを使用して、MS215 サブウーファーの上部に取り付けられています。

2 番目の MAN-FG フライグリッドは、MAN-FG フライグリッドに付属のコンポーネントを使用して、最も低い MS215 サブウーファーの底部に取り付けられています。



警告

MV212 キャビネットと MS215 サブウーファーのさまざまな混合物を構成することができますが、総重量 1009KG を超えないようにします。



警告

このアレイは、MS215 サブウーファーを上、MV212 キャビネットを下にしてのみ作成する必要があります。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

5.0.1 必要なコンポーネント

アイテム	量
MAN-FG Fly Grid	2
MS215 サブウーファー	1
MV212 キャビネット	1

5.0.2 測定された重み

アイテム	量	重量	
MAN-FG	1	53 kg	116.9 lbs
MV212	1	53 kg	116.9 lbs
MS215	1	83 kg	183 lbs

5.0.3 MAN-FG フライグリッド WLL (10:1 安全率)

アイテム	作業負荷制限 (WLL) 4 ポイントサスペンション	
MAN-FG	1009 kg	2224 lbs



保護帽子は着用しなければならない



保護靴は着用しなければならない



保護手袋を着用しなければならない

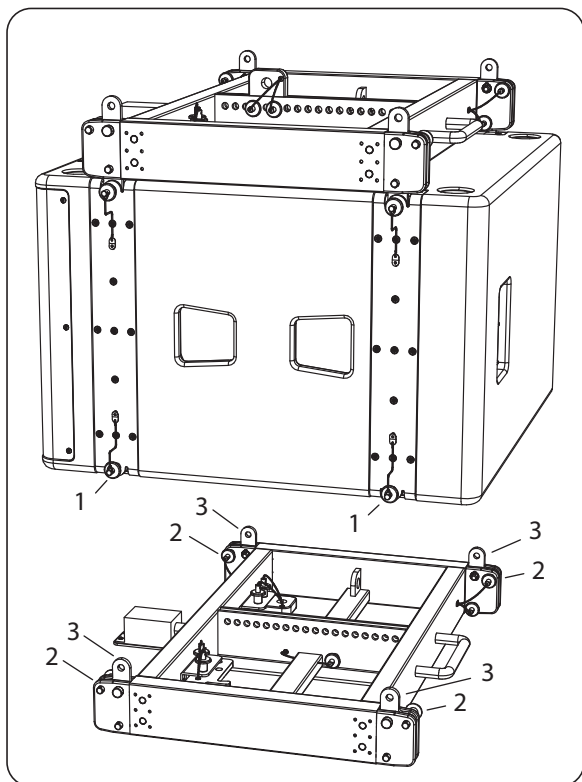
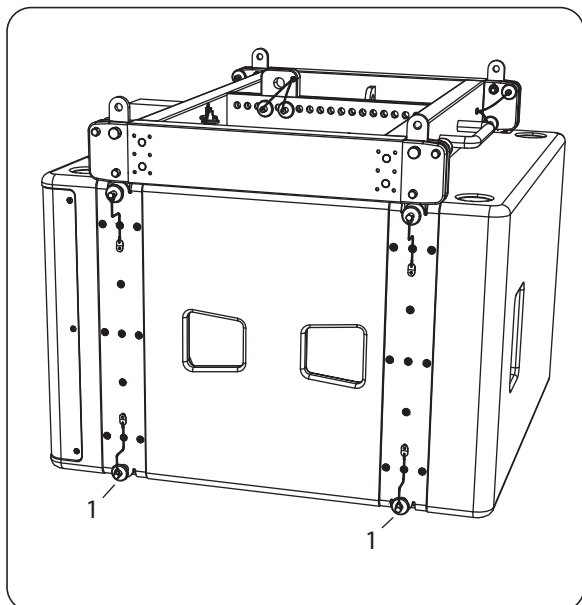


保護メガネを着用しなければならない



安全なリフティングを練習する

手順 5.1 - MS215 サブウーハーへの MAN-FG フライグリッドの取り付け



- 「第 4 章: 手順 4.1 の手順 1~3」の前の手順を実行して、MAN-FG フライ グリッドを MS215 サブウーハーに接続します。

プロシージャ	作品内容	小切手
4.1 ステップ 1 からステッ プ 3	MS215 サブウーハーの MAN-FG フライグ リッドへの取り付け	

すべてのピンが正しく挿入されていること、および
フライグリッドがサブウーハーにしっかりと接続さ
れていることを再確認してください。



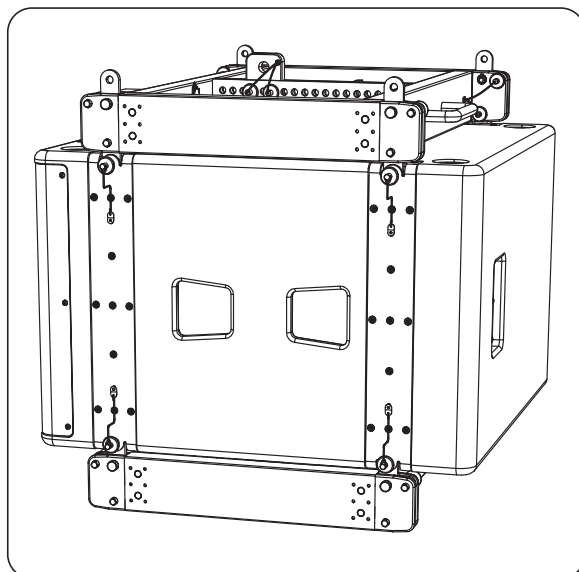
- MAN-FG フライグリッドのシングルシャックルプレートに弓シャックルまたはその他の持ち上げ装置をしっかりと取り付け、フックとチェーンを取り付けます。フライグリッド / サブウーハーアセンブリを適度な作業高さまで慎重に持ち上げて、2 番目の MAN-FG フライグリッドを取り付けることができます。
- 下部リギングピン 4 本を引き出してサブウーハーを準備します (1)。
- 4 つのトップリギングピン (2) を引き出し、4 つのトップリンク (3) を上の位置に移動して、2 番目の MAN-FG フライグリッドを準備します。ピン (2) を完全に挿入して、リンクを上向きの位置に固定します。単一のシャックルプレートを取り外し、2 本のピンで収納位置に固定します。
- フライグリッドアセンブリのトップリンク (3) をサブウーハー底面の対応する取り付け位置に慎重に合わせ、フライグリッドを所定の位置に保持します。

コンポーネントの間に指を挟まないように注意し
てください。

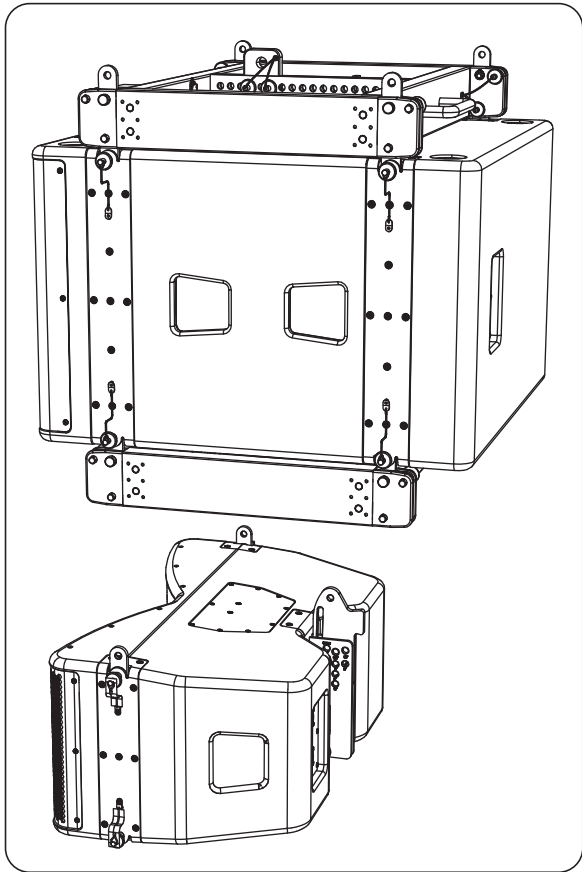


- サブウーハーの 4 本の下ピン (1) を挿入して、フライグリッドをサブウーハーに固定します。

すべてのピンが正しく挿入されていること、および
フライグリッドがサブウーハーにしっかりと接続さ
れていることを再確認してください。



手順 5.2 - MS215 サブウーハーへの MV212 キャビネットの取り付け



1. 「第 3 章: 手順 3.1 の手順 3 ~ 12」の前の手順を実行して、MV212 キャビネットを下部の MAN-FG フライ グリッドに接続します。

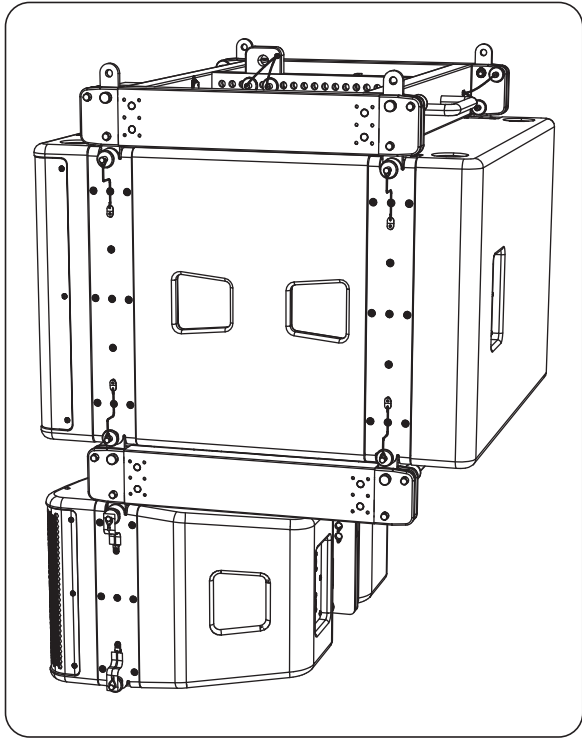
プロシージャ	作品内容	小切手
3.1 ステップ 3 からステップ 12	MV212 キャビネットを MAN-FG フライグリッドに接続する	

すべてのピンが正しく挿入されていること、および MV212 キャビネットが MAN-FG フライグリッドにしっかりと接続されていることを再確認してください。

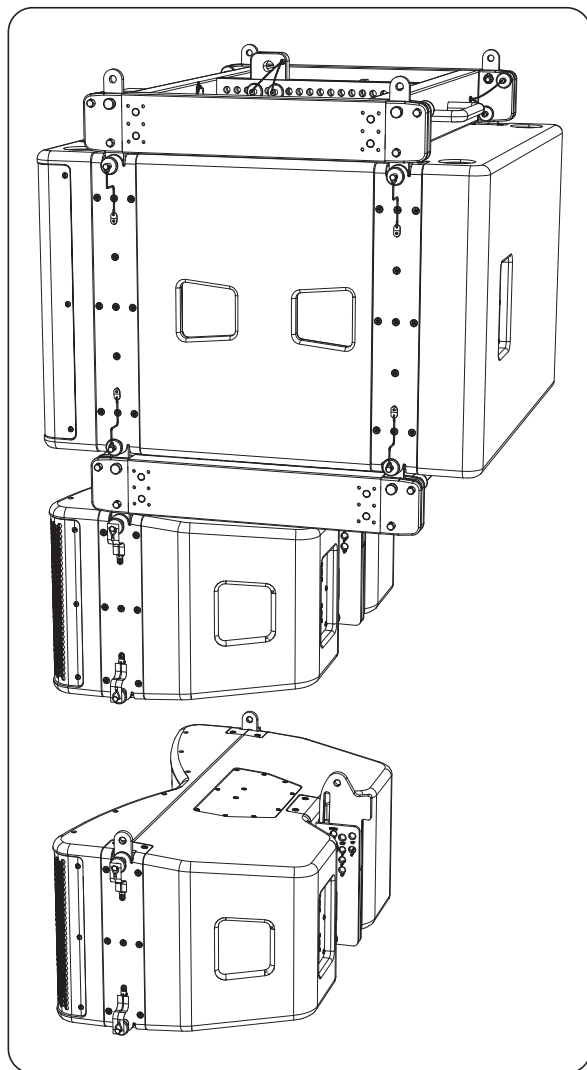


2. 同様の方法で、最初の MV212 キャビネットの下にさらに MV212 キャビネットを追加します。
3. あるいは、以前に組み立てた MV212 キャビネットのグループを下部の MAN-FG フライグリッドに組み立てることもできます。第 3 章「手順 3.2: MV212 キャビネットのグループを MAN-FG フライグリッドに追加する」を参照してください。

プロシージャ	作品内容	小切手
3.2	MV212 キャビネットのグループを MAN-FG フライグリッドに追加する	



JP

**警告**

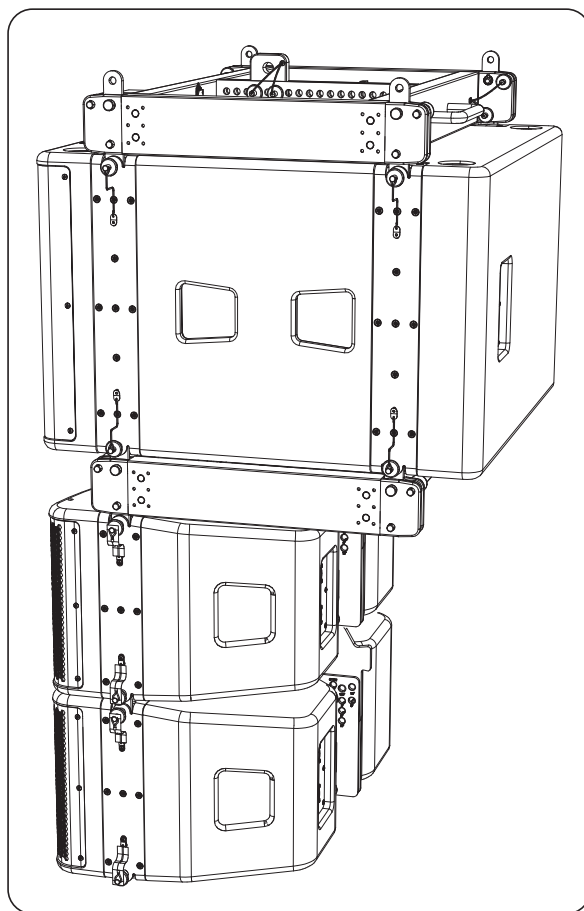
MV212 キャビネットと MS215 サブウーファーのさまざまな混合物を構成することができますが、総重量 1009KG を超えないようにします。

**警告**

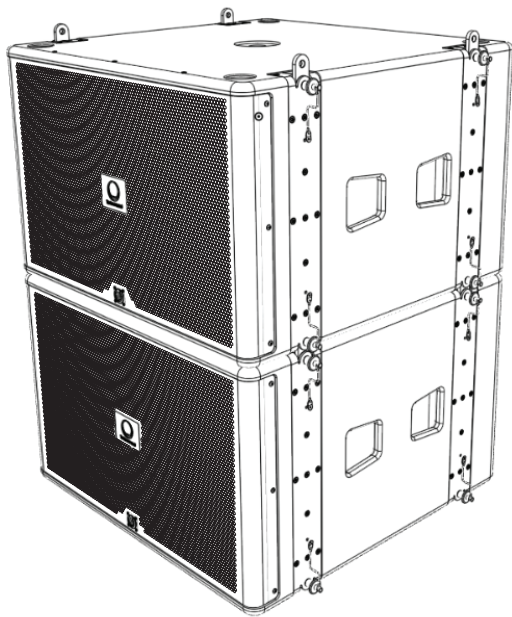
このアレイは、MS215 サブウーファーを上、MV212 キャビネットを下にしてのみ作成する必要があります。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

手記

分解は組み立ての逆です



第 6 章: 2 つの MS215 サブウーファーのグランドスタック



次の手順では、2 つの MS215 サブウーファーでグランドスタックを組み立てる方法について説明します。

MS215 サブウーファーは、下部サブウーファーの 4 ポップアップ取り付けリンクを使用して取り付けられています。



警告

このグランドスタック構成では、MS215 サブウーファーの合計量を 3 個を超えないようにしてください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。



警告

可能であれば、ラチェットストラップなどの追加の固定具を使用して、必ず地上に積み重ねたスピーカーを積み重ね面に固定してください。

6.0.1 必要なコンポーネント

アイテム	量
MS215 サブウーファー	3 (最大)

6.0.2 場所

MS215 サブウーファーは、アセンブリ全体の重量を支えることができる、平らで水平で乾燥した表面に配置する必要があります。

6.0.3 測定重量

アイテム	量	重量
MS215	1	83 kg 183 lbs



保護帽子は着用しなければならない



保護靴は着用しなければならない



保護手袋を着用しなければならない

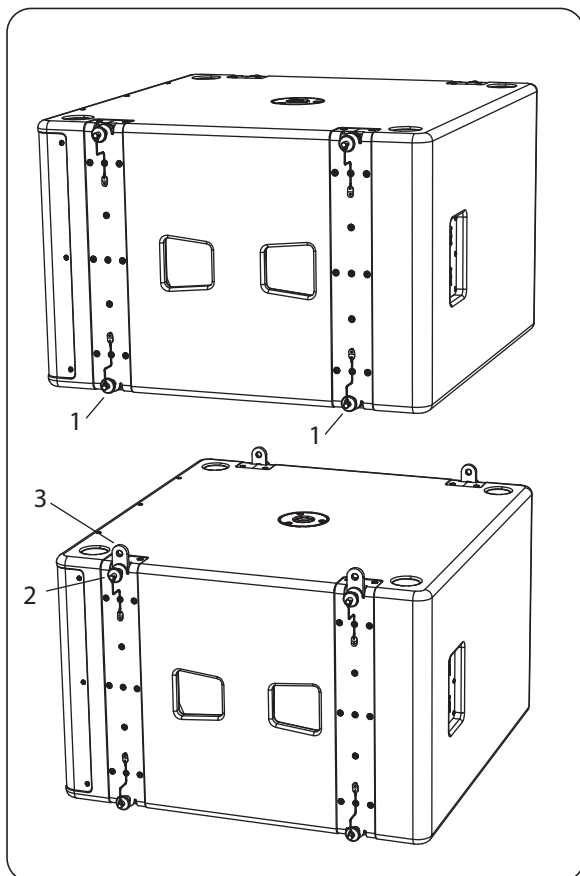


保護メガネを着用しなければならない



安全なリフティングを練習する

手順 6.1 - 2 つの MS215 サブウーファーの組み立て



1. 積み重ねる前に、下部サブウーファーが、アセンブリの重量に安全に耐えられる、平らで乾燥した固体の水平面に取り付けられていることを確認してください。
2. 下部サブウーハーの上部ピン4本(2)を抜くと、バネ式取り付けリンク (3) が上向きの位置に移動します。ピン (2) を挿入し直して、リンク (3) を上向きの位置に固定します。
3. 上部サブウーハーの下部4本のピンを引き出します (1)。1人以上のアシスタントの助けを借りて、上部サブウーハーを慎重に持ち上げて下部サブウーハーの上に追加し、下部サブウーハーのリンク (3) を上部サブウーハー下部の対応するスロットに合わせます。

コンポーネントの間に指を挟まないように注意してください。



4. 上段サブウーハーのリギングピン (1) を挿入し直して、下段サブウーハーのトップリnk(3)を上段サブウーハーに固定します。

すべての接続を再確認して、MS215 サブウーハーがしっかりと接続されていることを確認します。



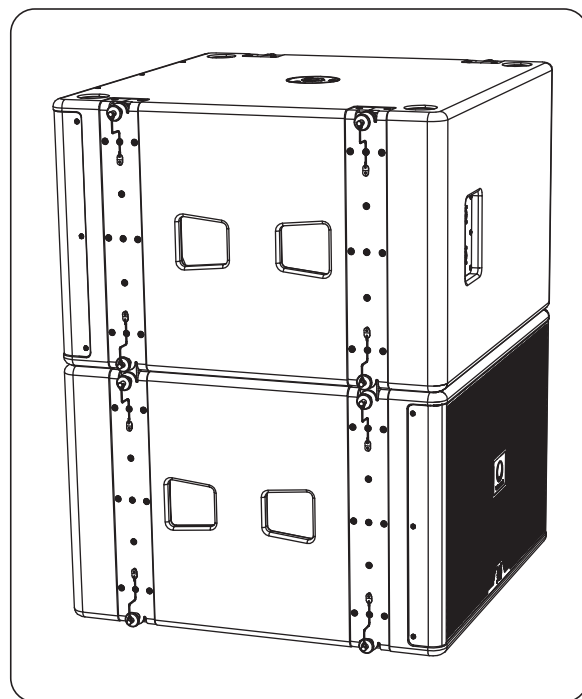
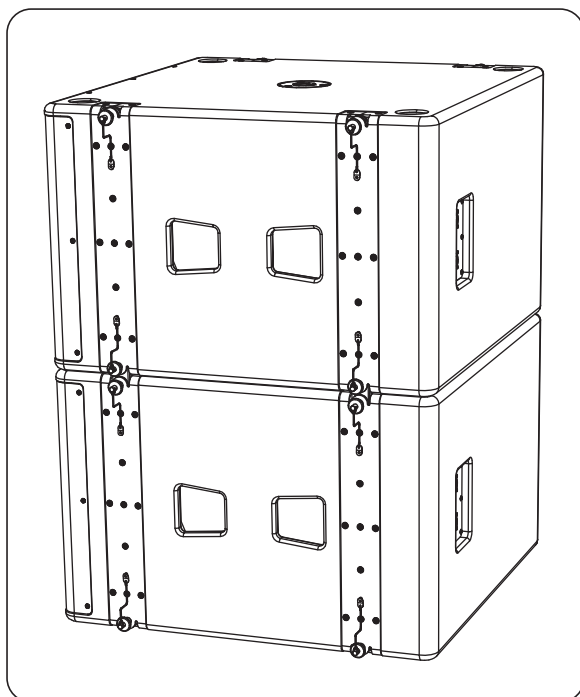
5. 上部サブウーハーのトップリnk (3) は、リギングピン (2) で上向きの位置に固定することもできます。これらのリンクは、転倒を防ぐためにグランドスタックアセンブリのタイダウンポイントとして使用できます。
6. MS215 サブウーハーは、背面に取り付けることもできます。各MS215 のフロントマウント入力を使用して、スピーカーの配線接続をより簡単かつきれいにすることができます。

**警告**

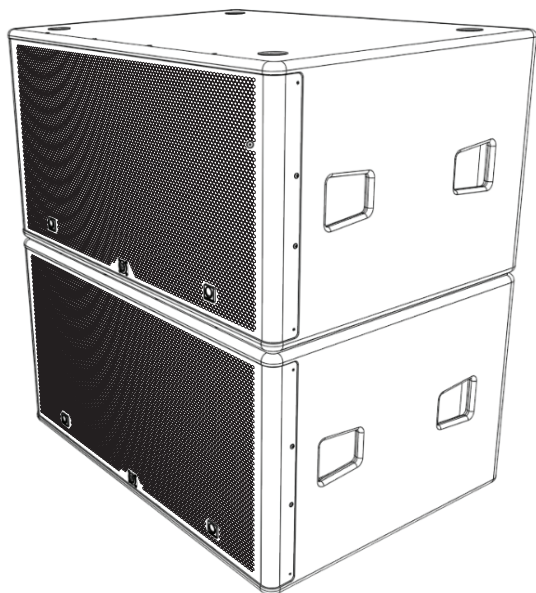
このグランドスタック構成では、MS215 サブウーハーの合計量を3個を超えないようにしてください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

手記

分解は組み立ての逆です。



手順 6.2 - 2 つの MS218 サブウーファーの組み立て



次の手順では、2 つの MS218 サブウーファーでグランドスタックを組み立てる方法について説明します。

1. 積み重ねる前に、下部サブウーファーが、アセンブリの重量に安全に耐えられる、平らで乾燥した固体の水平面に取り付けられていることを確認してください。
2. アシスタントの助けを借りて、2 番目の MS218 サブウーハーを下部サブウーハーの上に慎重に持ち上げます。上部サブウーハーの足が下部サブウーハーの上部にある対応するくぼみに収まることを確認します。

コンポーネントの間に指を挟まないように注意してください。



3. MS218 サブウーファーは、背面に取り付けることもできます。各 MS218 のフロントマウント入力を使用して、スピーカーの配線接続をより簡単かつきれいにすることができます。
4. MS218 サブウーハーのグランドスタックは、転倒を防ぐために慎重かつしっかりと縛られている必要があります。



警告

このグランドスタック構成では、MS218 サブウーハーの合計数量を 3 個を超えないようにしてください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。



警告

可能であれば、ラチェットストラップなどの追加の固定具を使用して、必ず地上に積み重ねたスピーカーを積み重ね面に固定してください。

6.2.1 必要なコンポーネント

アイテム	量
MS218 サブウーファー	3 (最大)

6.2.2 場所

MS218 サブウーファーは、アセンブリ全体の重量を支えることができる、平らで水平で乾燥した表面に配置する必要があります。

6.2.3 測定重量

アイテム	量	重量
MS218	1	97 kg 214 lbs

6.2.4 人員

以下の手続きは、経験豊富で、認定され、資格があり、権限のある職員のみが行うものとします。手続きには、3 人以上の権限のある人を使用する必要があります。



保護帽子は着用しなければならない



保護靴は着用しなければならない



保護手袋を着用しなければならない



保護メガネを着用しなければならない

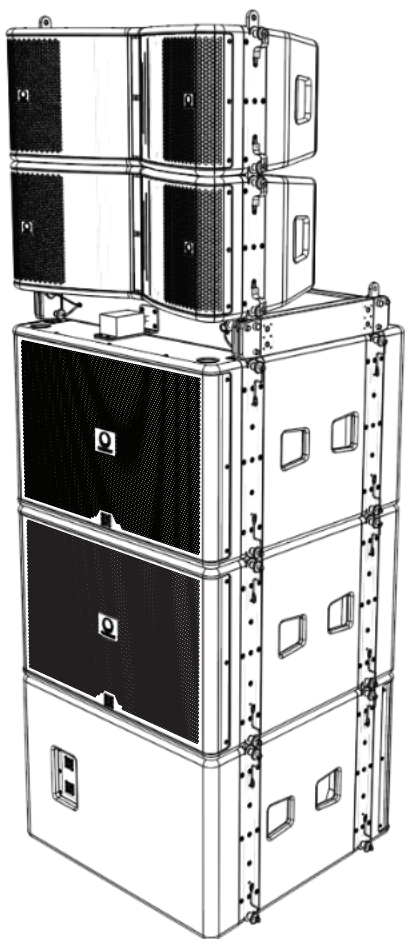


安全なリフティングを練習する

手記

分解は組み立ての逆です。

第 7 章: グランドスタック MS215 サブウーファーと MV212 アレイ



次の手順では、MS215 サブウーファーをベースとしてグランドスタックを組み立て、その上に 4 つの MV212 キャビネットの配列を取り付ける方法について説明します。



警告

このグランドスタック構成では、合計 6xMV212 キャビネットを超えないようにしてください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。



警告

可能であれば、ラチェットストラップなどの追加の固定具を使用して、必ず地上に積み重ねたスピーカーを積み重ね面に固定してください。

7.0.1 必要なコンポーネント

アイテム	量
MS215 サブウーファー	3 X MS215
MV212 キャビネット	6 X MV212

7.0.2 場所

MS215 サブウーファーは、アセンブリ全体の重量を支えることができる、平らで水平で乾燥した表面に配置する必要があります

7.0.3 測定された重み

アイテム	量	重量	
MAN-FG	1	53 kg	116.9 lbs
MV212	1	53 kg	116.9 lbs
MS215	1	83 kg	183 lbs



保護帽子は着用しなければならない



保護靴は着用しなければならない



保護手袋を着用しなければならない



保護メガネを着用しなければならない

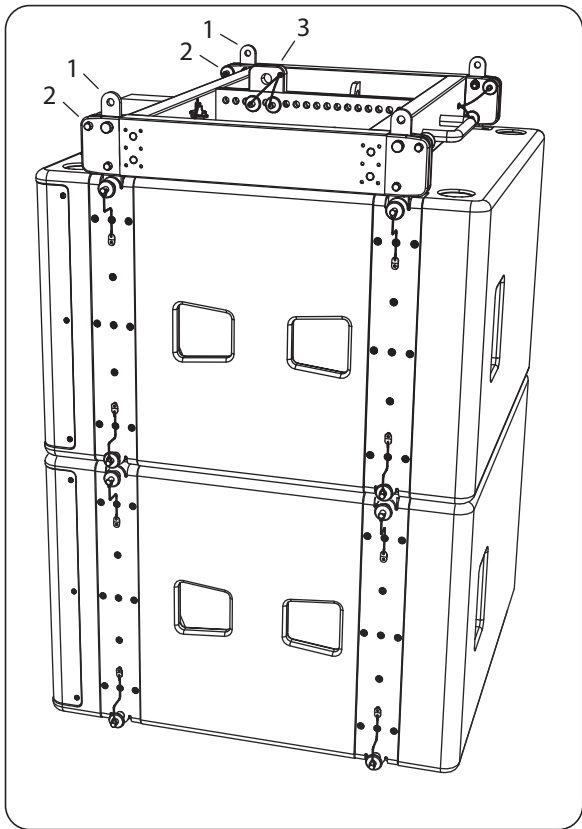


安全なリフティングを練習する

7.0.4 人員

以下の手続きは、経験豊富で、認定され、資格があり、権限のある職員のみが行うものとします。手続きには、3 人以上の権限のある人を使用する必要があります。

手順 7.1 - MAN-FG フライグリッドを MS215 サブウーファースタックに取り付ける



1. 第 4 章の前の手順を実行して、MAN-FG フライグリッドを MS215 サブウーハーに接続します。

プロシージャ	作品内容	小切手
4.1	MS215 サブウーハーを MAN-FG フライグリッドに取り付ける	

すべてのピンが正しく挿入されていること、および MAN-FG フライグリッドがしっかりと接続されていることを再確認してください。

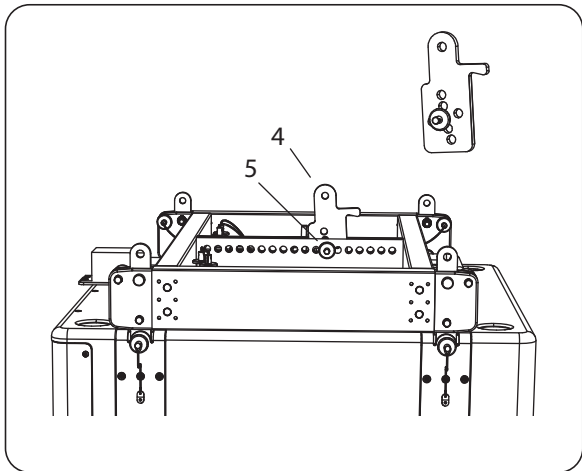
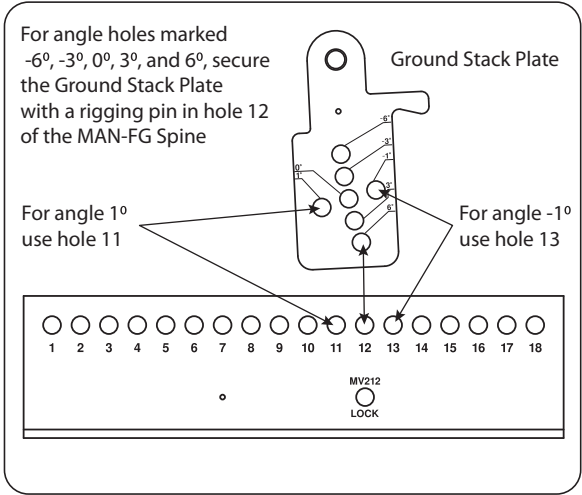


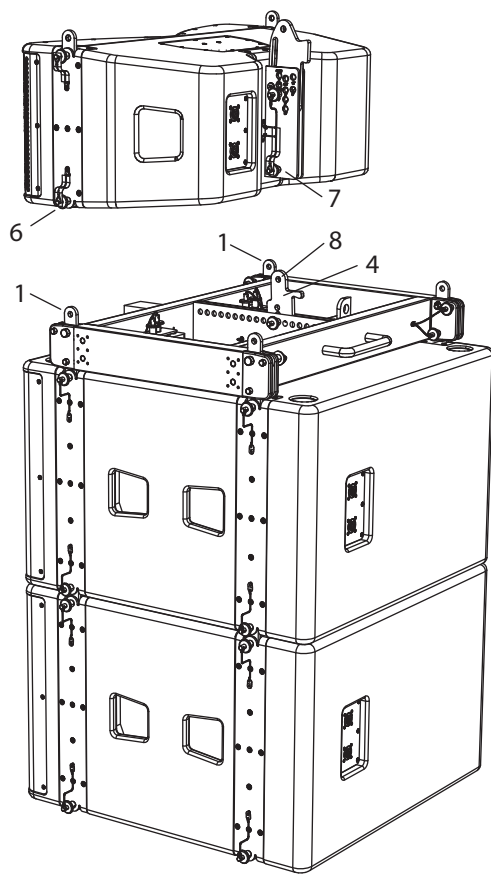
2. MAN-FG フライグリッドの上部リギングピン (2) を引き出し、リンク (1) を上向きの位置に動かします。ピン (2) を挿入し直して、リンク (1) を上向きの位置に固定します。上向きの位置にある背面上部取り付けリンク (1) は、タイダウンポイントとして使用できます。
3. シングルピックポイント (3) を取り外し、独自のリギングピンを使用して、MAN-FG フライグリッドの積み付け位置に取り付けます。
4. アーススタックプレート (4) を引き出し、取り付けられたリギングピン (5) の 1 つを使用して、MAN-FG フライグリッドの中央背骨に取り付けます。プレート穴は、-6 ~ +6 度の角度でマークされています。最初の MV212 キャビネットを水平から設定する角度を選択します。

6 度、3 度、0 度、-3 度、および -6 度とマークされた穴の場合は、中央の背骨に穴 12 を使用します。

1 度とマークされた穴には、穴 11 を使用します。

-1 度とマークされた穴には、穴 13 を使用します。





5. 前部下部リギングピン (6) と背部下部リギングピン (7) を引き出して、最初の MV212 キャビネットを準備します。
6. MV212 キャビネットの下部フロント取り付けスロットが MAN-FG フライグリッドの 2 つのフロントリンク (1) に収まるまで、MV212 キャビネットを慎重に持ち上げます。フロントピン (6) を挿入し直して、MAN-FG フライグリッドリンク (1) を MV212 に固定します。

コンポーネントの間に指を挟まないように注意してください。

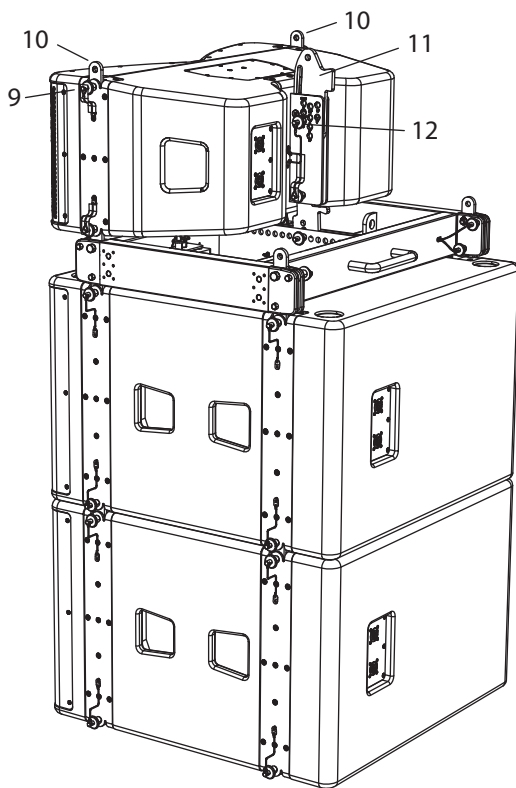


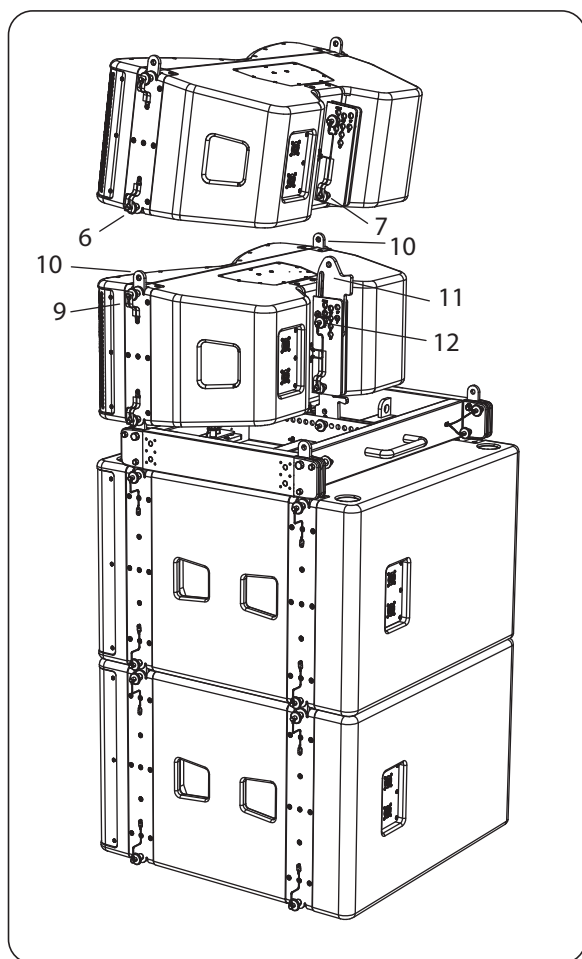
7. MV212 キャビネットの背部下部取り付け穴を、グランドスタックプレート (4) の上部穴 (8) に合わせます。背面ピン (7) を挿入し直して、MV212 の背面をグランドスタックプレートに固定します。

先に進む前に、すべてのピンが正しく挿入されていることを再確認してください。



8. 前面上部の 2 つのリギング・ピン (9) を引き出して、次の MV212 キャビネット用に下部 MV212 を準備します。バネ式のトップリンク (10) は上向きの位置に移動します。ピン (9) を挿入し直して、リンクを上向きの位置に固定します。
9. 背面上部リギング・ピン (12) を引き出し、MV212 の背面取り付けプレート (11) を上方向にスライドさせて、リギング・ピン (12) を使用可能な穴の 1 つに挿入し直します。各穴には角度が付いています。次の MV212 に設定したい角度に合った穴を選択します。





10. 前面下部リギングピン (6) と背面下部リギングピン (7) を引き出して、次の MV212 キャビネットを準備します。(ステップ 5 を参照してください)。
11. MV212 キャビネットの下部前面取り付けスロットが下部 MV212 のリンク (10) に収まるまで、MV212 キャビネットを慎重に持ち上げます。前面ピン (6) を挿入し直して、下部 MV212 へのリンク (10) を固定します。

コンポーネントの間に指を挟まないように注意してください。



12. 上部 MV212 キャビネットの背面下部取り付け穴を、下部 MV212 背面取り付けプレート (11) の上部の穴に合わせます。背面ピン (7) を挿入し直して、上部 MV212 の背面を下部 MV212 の背面取付板に固定する。

先に進む前に、すべてのピンが正しく挿入されていることを再確認してください。



13. 他の MV212 キャビネットの追加は、追加のキャビネットごとに手順 8~12 を繰り返して行います。

すべての接続を再確認して、MS215 サブウーハーと MV212 キャビネットがすべてしっかりと接続されていることを確認します。

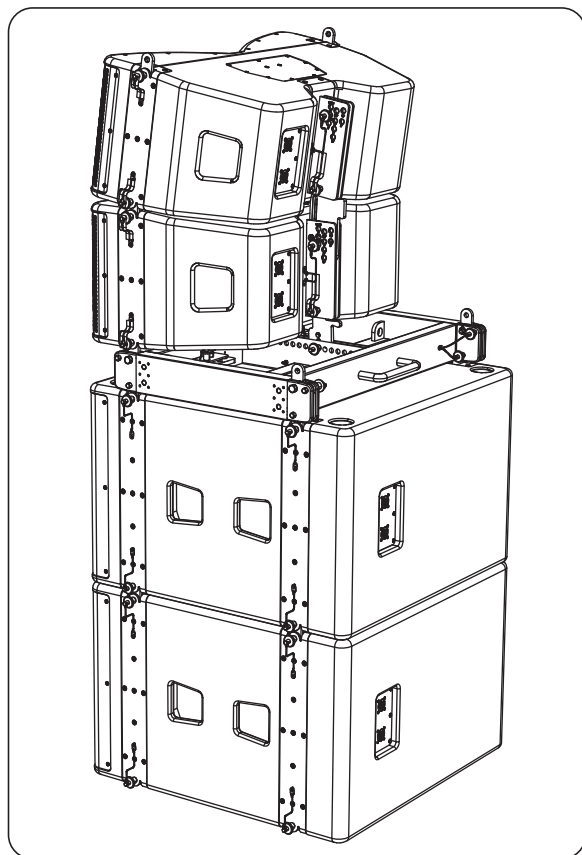


警告

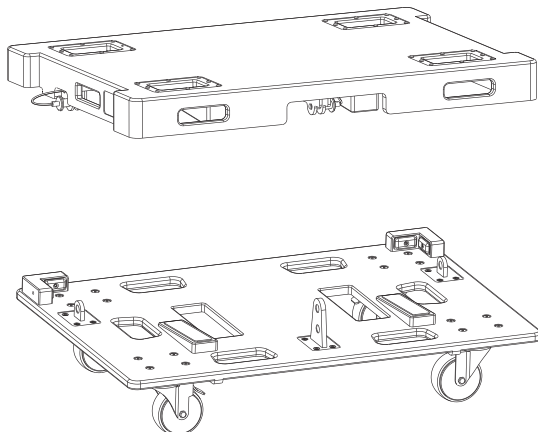
このグラウンドスタック構成では、合計 6 MV212 キャビネットを超えないようにしてください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

手記

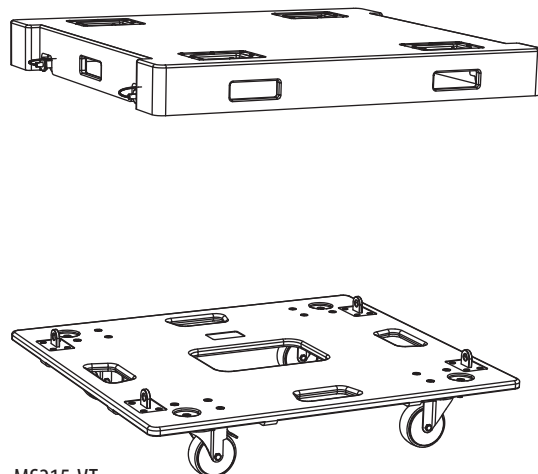
分解は組み立ての逆です。



第 8 章: MV212-VT および MS215-VT 垂直トランスポーター



MV212-VT



MS215-VT

8.0.1 必要なコンポーネント

アイテム	量
MS215-VT	1
MS215	3 (最大)
MV212-VT	1
MV212	4 (最大)

8.0.2 場所

MS215-VT および MV212-VT 垂直トランスポートは、アセンブリ全体の重量を支えることができる、平らで水平で乾燥した表面に配置する必要があります。キャビネットの追加中は、ホイールをロックする必要があります。

8.0.3 測定重量

アイテム	量	重量	
MS215-VT	1	31.6 kg	69.7 lbs
MV212-VT	1	24.7 kg	54.5 lbs

MS215-VT は、最大 3 つの MS215 サブウーファースタックを輸送して安全に保管し、飛行のために位置に移動することができます。

MV212-VT は、最大 4 つの MV212 キャビネットのスタックを輸送して安全に保管し、飛行のために位置に移動することができます。

MS215 サブウーファースタックは MS215-VT に組み立てられ、クイックリリースピンを使用して固定されています。

MV212 キャビネットは MV212-VT に組み立てられ、クイックリリースピンを使用して固定されています。

次の手順では、MS215 サブウーファースタックを MS215-VT に、MV212 キャビネットを MV212-VT に組み立てる方法について説明します。



警告

各 MV212-VT の合計数量4個の MV212 キャビネットを超えないようにしてください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。



警告

各 MS215-VT の合計数量が 3 個の MS215 キャビネットを超えないようにしてください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

8.0.4 人員

以下の手続きは、経験豊富で、認定され、資格があり、権限のある職員のみが行うものとします。手続きには、3 人以上の権限のある人を使用する必要があります。



保護帽子は着用しなければならない



保護靴は着用しなければならない



保護手袋を着用しなければならない

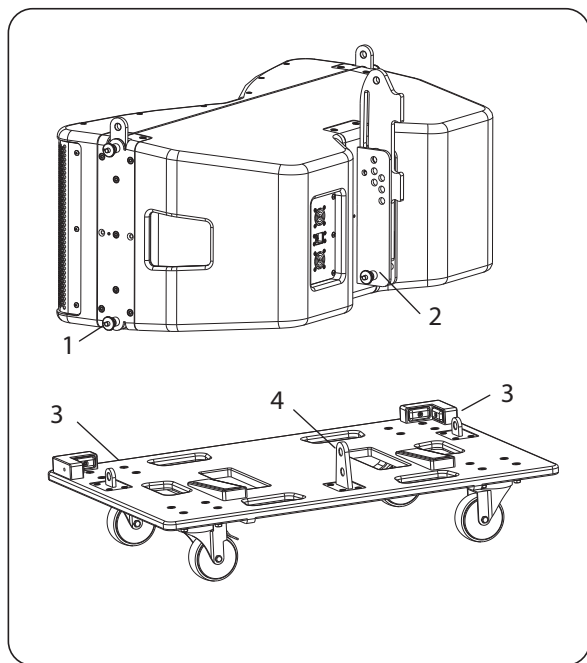


保護メガネを着用しなければならない



安全なリフティングを練習する

8.1 MV212 キャビネットの MV212-VT への取り付け



1. 前面下部リギングピン (1) と背面下部リギングピン (2) を引き出して、最初の MV212 キャビネットを準備します。
2. MV212-VT の前面取り付けリンク (3) に収まるまで、MV212 キャビネットの下部前面取り付けスロットを慎重に持ち上げます。MV212-VT 取り付けリンク (3) を MV212 に固定するために、前面ピン (1) を挿入し直します。

コンポーネントの間に指を挟まないように注意してください。



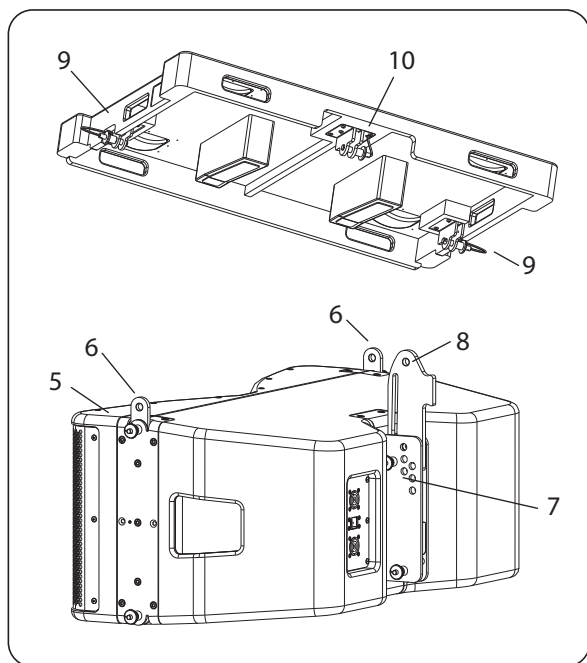
3. MV212 キャビネットの背面下部取り付け穴を、MV212-VT 背面取り付けリンクの上部穴に合わせます (4)。背面ピン (2) を挿入し直して、MV212 の背面を MV212-VT 背面取り付けリンクに固定します。

先に進む前に、すべてのピンが正しく挿入されていることを再確認してください。



4. 他の MV212 キャビネットは、地上スタッキングのセクションで示したのと同じ手順を使用して、最初のキャビネットに追加できます。

各 MV212 の背面取り付けプレートの角度マーキングが示すように、角度がすべて 0 度に設定されていることを確認します。



5. 最後のキャビネットを追加したら、MV212-VT の上蓋を以下のように追加してキャビネットを保護することができます。
6. MV212-VT の上蓋を取り付けるための上部 MV212 キャビネットを準備し、2 つの前面上部リギングピン (5) を引き出します。バネ式のトップリンク (6) は上向きの位置に移動します。ピン (5) を挿入し直して、リンク (6) を上向きの位置に固定します。
7. 背面上部リギングピン (7) を引き出し、MV212 の背面取り付けプレート (8) を上方向にスライドさせて、リギングピン (7) を 0 度の穴に挿入し直します。
8. MV212-VT の上蓋からリギングピン (9 と 10) を引き出します。
9. 上蓋を上部の MV212 キャビネットの上部に下ろし、上蓋の取り付け位置が MV212 トップリンク (6) と背面取り付けプレート (8) に収まるように慎重に位置合わせします。
10. 前面ピン (9) を挿入し直して、前面リンク (6) を上蓋に固定します。背面ピン (10) を挿入し直し、背面取付板 (8) を上蓋に固定する。

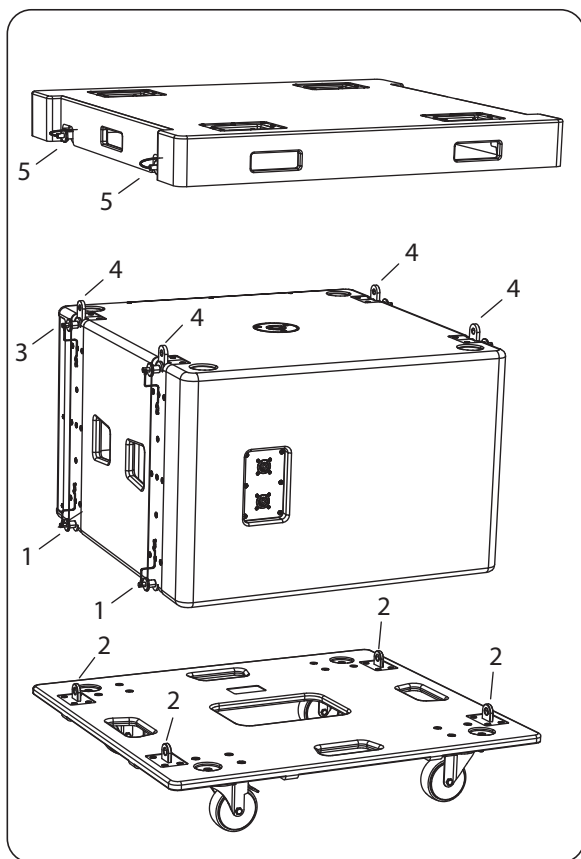
すべてのピンが正しく挿入されていることを再確認してください。



警告

各 MV212-VT の合計数量4個の MV212 キャビネットを超えないようにしてください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

8.2 MS215 サブウーハーの MS215-VT への取り付け



1. 最初の MS215 サブウーハーを準備し、4 つの下部リギングピン (1) を引き出します。
2. MS215 サブウーハーを慎重に持ち上げて、取り付けスロットが MS215-VT の 4 つの取り付けリンク (2) に収まるようにします。ピン (1) を挿入し直して、サブウーハーキャビネットを取り付けリンク (2) に固定します。

コンポーネントの間に指を挟まないように注意してください。



先に進む前に、すべてのピンが正しく挿入されていることを再確認してください。



3. 他の MS215 サブウーファーは、グラウンドスタッキングのセクションで示したのと同じ手順を使用して、最初のサブウーファーの上に追加できます。
4. 最後のサブウーファーを追加したら、MS215-VT の上蓋を次のように追加してサブウーファーを保護することができます。
5. 上部の MS215 サブウーハーを準備して、上部のリギングピン 4 本を引き出します (3)。バネ式のトップリンク (4) は上向きの位置に移動します。ピン (3) を挿入し直して、リンク (4) を上向きの位置に固定します。
6. MS215-VT の上蓋から 4 本のリギングピン (5) を引き出します。
7. 上蓋を上側の MS215 サブウーハーの上部に下ろし、上蓋の取り付け位置が MS215 トップリンクに収まるように慎重に位置合わせします (4)。
8. ピン (5) を挿入し直して、上蓋をサブウーハーに固定します。

すべてのピンが正しく挿入されていることを再確認してください。

**警告**

MV212-VT ごとに 3 つの MS215 サブウーファーの合計数量を超えないようにしてください。指示に従わないと、永久的な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

第 9 章 安全点検



システムまたはグランドスタッキングを中断する前に、次の注意事項を読み、従う必要があります。

キャビネット

すべてのキャビネットを注意深く点検し、すべての表面が清潔で良好な状態にあり、亀裂、腐食、またはアセンブリを弱める可能性のあるその他の欠陥がないことを確認します。ネジ、リギングピン、ポップアップリンク、取り付けリンク、またはピボットピンがないかどうかを確認します。

すべてのキャビネットは清潔で乾燥しており、誤った動作や誤った操作を引き起こす可能性のある破片がない必要があります。

すべての取り付け穴が清潔で良好な状態にあり、リギングピンを正しく受け入れていることを確認します。

フライグリッド

フライグリッドを注意深く点検し、良好な状態にあり、亀裂、腐食、またはアセンブリを弱める可能性のあるその他の欠陥がないことを確認します。リギングピンや取り付けリンクがないか確認します。

すべての取り付け穴が清潔で良好な状態にあり、リギングピンを正しく受け入れていることを確認します。

リギングピン

すべてのリギングピンを注意深く点検し、良好な状態にあり、亀裂、腐食、またはそれらを弱める可能性のあるその他の欠陥がないことを確認します。

保持ボールベアリングが存在し、正しく動作していることを確認してください。

すべてのリギングピンと接続取り付けリンクが正しく完全に挿入されていることを確認します。

リンクのマウント

すべてのポップアップリンク、取り付けリンク、ピボットピンを注意深く点検し、それらが良好な状態にあり、亀裂、腐食、またはそれらを弱める可能性のあるその他の欠陥がないことを確認します。

保持ピボットピンが存在し、正しく動作して取り付けリンクを保持していることを確認します。

お手入れとメンテナンス

定期的な点検に加え、清潔な乾いた布で丁寧にブラッシング・拭き取り、すべての機器が清潔で乾燥していることを確認してください。WD40 などの潤滑の軽い使用は、リギングピンおよび取り付け穴に適用することができます。

すべての機器は、腐食を防ぐために清潔で乾燥した状態で保管する必要があります。

運輸

ラウドスピーカーとコンポーネントを輸送するには、推奨される道路ケースのみを使用してください。

定期点検



すべてのリギングコンポーネントの目視検査に加えて、リギングコンポーネントの定期的かつより厳格なテストと検査も実行する必要があります。安全法規と試験検査要件は国によって異なります。ほとんどの場合、半年ごとまたは毎年の独立した試験と、適切に承認され資格のある検査官による検査が必要になります。ユーザーは、適用されるすべての安全要件への準拠を確認する必要があります。ターボサウンドは定期的な安全検査を推奨し、さらに各ターボサウンドリギングアクセサリーのテストと検査履歴を詳述したログブックを保管することをお勧めします。常に保護用のヘッドウェア、履物、目の保護具を現地の規制に従って着用してください。サウンドシステムの中断に関与している人は、次のアドバイスに注意してください。

吊り下げられたサウンドシステムのリギングは、必要なタスクを実行するために必要な経験と認定を受けた有資格者によって行われなければならない限り、危険である可能性があります。屋根の吊り下げポイントの固定は、常にプロのリガーによって、会場の地元の規則に従って行われるべきです。ハウスリガーおよび/またはビルマネージャーは、常に相談する必要があります。

第 10 章: 10:1、7:1、および 5:1 の設計要因での MAN-FG フライグリッドサスペンションのエンクロージャ量と組み合わせ

10:1、7:1、および 5:1 の設計係数で MAN-FG フライバーを使用したサスペンション用の MV212 および MS215 エンクロージャの最大許容量と組み合わせ。

MAN-FG 作業負荷制限 W.L.L

停止	安全率 10:1 の W.L.L
3 点系: MV212 / MV212-XV	MS215 サブウーハーを MAN-FG フライグリッドに取り付ける
4 点式システム: MS215	1009 kg / 2224 ポンド

測定重量

アイテム	測定重量
MV212	53 kg
MV212-XV	50 kg
MS215	83 kg
MAN-FG with Tip Bar	53 kg

MV212 アレイ

安全率	数量	MV212 重量キロ	形容
10 to 1	1	53	
10 to 1	2	106	
10 to 1	3	159	
10 to 1	4	212	
10 to 1	5	265	
10 to 1	6	318	
10 to 1	7	371	
10 to 1	8	424	
10 to 1	9	477	
10 to 1	10	530	
10 to 1	11	583	
10 to 1	12	636	
10 to 1	13	689	
10 to 1	14	742	
10 to 1	15	795	
10 to 1	16	848	最大数量 10:1
7 to 1	17	901	
7 to 1	18	954	
7 to 1	19	107	
7 to 1	20	1060	
7 to 1	21	1113	
7 to 1	22	1166	最大数量 7:1
5 to 1	23	1219	
5 to 1	24	1272	最大数量 5:1

MS215 配列

安全率	数量	MS215 重量キロ	形容
10 to 1	1	83	
10 to 1	2	166	
10 to 1	3	249	
10 to 1	4	332	
10 to 1	5	415	
10 to 1	6	498	
10 to 1	7	581	
10 to 1	8	664	
10 to 1	9	747	
10 to 1	10	830	
10 to 1	11	913	
10 to 1	12	996	最大数量 10:1
7 to 1	13	1079	
7 to 1	14	1162	
7 to 1	15	1245	
7 to 1	16	1328	
7 to 1	17	1411	
7 to 1	18	1494	最大数量 7:1

混合配列の例

例 A: 8 x MV212 および 6 x MS215

安全率 = 10:1

MV212 の数量	MV212 重量キロ	MS215 の数量	MS215 重量キロ
1	106	1	83
2	159	2	166
3	212	3	249
4	265	4	332
5	318	5	415
6	371	6	498
7	424		
8	477		

総重量 = 975キロ

注: 2 番目の MAN-FG フライ グリッドは、1 番目の MAN-FG の総重量負荷に含める必要があります。

例 B: 12 x MV212 および 3 x MS215

安全率 = 10:1

MV212 の数量	MV212 重量キロ	MS215 の数量	MS215 重量キロ
1	106	1	83
2	159	2	166
3	212	3	249
4	265		
5	318		
6	371		
7	424		
8	477		
9	530		
10	583		
11	636		
12	689		
合計 938 キロ			

注: 2 番目の MAN-FG フライ グリッドは、1 番目の MAN-FG の総重量負荷に含める必要があります。

例 C: 12 x MV212 および 6 x MS215

安全率 = 7:1

MV212 の数量	MV212 重量キロ	MS215 の数量	MS215 重量キロ
1	106	1	83
2	159	2	166
3	212	3	249
4	265	4	332
5	318	5	415
6	371	6	498
7	424		
8	477		
9	530		
10	583		
11	636		
12	689		
合計 1,187 キロ			

注: 2 番目の MAN-FG フライ グリッドは、1 番目の MAN-FG の総重量負荷に含める必要があります。

地域の規制遵守: マンチェスターシリーズサスペンションシステムの設計係数と作業負荷制限 (WLL) 定格は、すべての既知の規制法規に準拠することを目的としています。このマニュアル全体の推奨事項は 10:1 の設計要因に基づいていますが、公共の場でのサウンドシステムの停止に適用される規制や慣行には国際的にばらつきがあり、7:1 または 5:1 の設計要因が許容される場合があります。いずれの場合も、Turbosoundスピーカーシステムが、適用されるすべての国 / 連邦、州 / 省、および地方の規制に従って停止されていることを確認するのはユーザーの責任です。



これにより、Music Tribe は、この製品が指令 2011/65/EU および改正 2015/863/EU、指令 2012/19/EU、規則 519/2012 REACH SVHC および指令 1907/2006/EC、およびこのパッシブに準拠していることを宣言します。製品は、EMC 指令 2014/30/EU、LV指令 2014/35/EU には適用されません。

EU DoC の全文は、<https://community.musictribe.com/> で入手できます。

EU 代表: Music Tribe Brands DK A/S 住所: Gammel Strand 44, DK-1202 København K, デンマーク

英国代表: Music Tribe Brands UK Ltd. 住所: 6 Lloyds Avenue, Unit 4CL London EC3N 3AX, United Kingdom

メーカー宣言

We, Music Tribe Global Brands Ltd.

Music Tribe Global Brands Ltd.
26th Floor, Centuria Medical Makati Century City
Makati City, Manila 1200, PH

ここに、以下の構成要素を宣言する。

MV212 (およびバリエーション)ラウドスピーカーキャビネット

MS215 サブウーファーキャビネット

MAN-FG フライグリッド

チップバー、シングルポイントシャックルプレート、グランドスタックプレート

適用される EC 指令の関連する基本的な安全衛生基準に準拠していること。

この宣言は、機器に不正な変更が加えられた場合、無効になります。

適用される国家規格と技術仕様:

DIN EN ISO 12100

機械の安全性 - 設計の一般原則 - リスクアセスメントとリスク低減

BGV C1 (DGUV reg 17 に取って代わられた)

事故防止規制「芸能産業のための舞台化・生産設備」

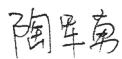
ANSI E1.8 2018

エンターテインメント技術 - オーバーヘッドサスペンション用ラウドスピーカーエンクロージャ - 分類、製造、構造試験

2006/42/EC

機械指令

この宣言を行う責任者:



Jun Yong. Tao
(シニアエンジニア)

Date: 2019-10-23

Music Tribe Global Brands Ltd.
26th Floor, Centuria Medical Makati Century City
Makati City, Manila 1200, PH

